

令和 6 年度
桑袋ビオトープ公園運営業務
年間業務報告書（本編）



令和 6 年 7 月撮影

（株）自然教育研究センター

目 次

I. 令和6年度の活動報告

長期目標	1
中期目標	1
短期目標	2
1. 令和6年度の重点的な取り組み	2
2. 実施体制と人員配置	3
3. 解説業務	
(1) 情報収集及び提供	
① 窓口解説及び電話対応等	4
② 日常的な体験プログラム	4
③ 地域、区内関連施設との連携事業	5
④ 入館者モニタリング	7
(2) 展示物、蔵書の管理・運営	9
① 展示物の企画・配置・管理・更新	9
② 蔵書の管理・保管	11
③ 生体展示の管理	12
(3) 体験型啓発事業の企画・実施	
① 体験型啓発事業の概要	13
② きっかけプログラム	14
③ 導入型プログラム	20
④ 発展型プログラム	22
⑤ 団体向けのプログラムの企画と実施	26
⑥ 小中学校等を対象とする職場体験の受け入れ	27
⑦ 区内教育機関等を対象とする出張授業の企画と実施	27
⑧ 区内教育機関等を対象とする学校ビオトープ運営サポートの企画と実施	28
⑨ 研修の実施	28
4. 区民協働	
(1) 公園ボランティアの育成・支援	29
① 水辺ボランティアの概要	29
② 水辺ボランティア 6・7・8 期生	30
③ 水辺ボランティア 9 期生	32
④ 野あそびボランティア	34
⑤ ビオトープ公園ジュニアレンジャー（ビオレンジャー）	37
⑥ 提案型ボランティア制度	38
⑦ ビオトープ公園サポーター制度	40
⑧ 飛び込み型環境管理ボランティア	41
⑨ 区民参加型環境管理イベント	41

5. 広報活動

- (1) 当公園に関する情報発信と情報収集 42
- (2) 印刷物による情報発信 43
- (3) Web サイト等インターネットを活用した情報発信 44
- (4) 園外での PR 活動 46

6. 維持管理業務

- (1) 巡回点検 47
- (2) あやせ川清流館の管理 47
- (3) 緊急作業 47
- (4) その他の維持管理作業 48

7. 危機管理

- (1) 危機管理の概要 49
- (2) 安全管理マニュアルの作成 49
- (3) 災害対策マニュアルの作成 49
- (4) 個人情報の保護 49

8. 環境管理

- (1) 環境管理計画の作成と環境管理 50
 - ①環境管理計画の作成と報告 50
 - ②動植物のモニタリング 51
 - ③ため池及び周辺河川の水質のモニタリング 52
 - ④草地の維持・管理 53
 - ⑤樹木等の維持・管理 55
 - ⑥生物管理 56
 - ⑦水生植物等の管理 58
 - ⑧ため池の水質改善の取り組み 59

長期目標

「桑袋ビオトープ公園を拠点とした持続可能な地域づくり」

公園の生物多様性について、区民が主体性をもって学び守る公園にします。そのことを通じて、公園内だけではなく、その地域全体が、自然と共生する持続可能な環境になることを目指します。

① 区民が育てる公園、公園と育つ地域と人

公園で育った公園ボランティアや子どもなどが、さまざまな地域の緑地保全活動の担い手になっていきます。

② 子どもから高齢者までの学びと充実、安らぎの場

公園内では、地域住民の目が行き届き、子どもから高齢者までの誰もが安心して、遊び、学ぶことが出来ます。

③ 地域の生態系と調和した公園の自然

公園のみならず公園を中心とした地域全体の生物多様性が向上し、地域の生態系と調和した公園の自然が確立されています。

④ 足立の生態系を守る情報拠点

地域の生物多様性保全に関わるノウハウや情報が領域を超えて集積・発信されています。

⑤ 全国区で有名な公園

公園での取り組みが広域で評価され、全国区で有名な公園となることで桑袋ビオトープ公園が足立区民の誇りになっています。

中期目標

「生物多様性が高まるビオトープ管理と 誰もが安心・安全に利用できる自然体験の場づくり」

長期目標を実現するために、各業務に中期的な目標を立てて遂行していきます。現在の中期目標は令和4年度に設定し、目標年度を令和8年に定めて業務を遂行しました。

短期目標

「ビオトープとビオトープ公園の『今』を伝える場の整備」

1 令和6年度の重点的な取り組み

① 公園の「今」を伝える解説活動の検討、実施

野外に設置されている野外解説板の更新に向け、内容の見直しを行いました。それを踏まえ、来年度以降の更新を目指します。また、館内の季節展示の一部を現在の公園の環境に即した展示内容にリニューアルしました。

② ビオトープの「今」を伝える解説活動の検討、実施

COP15において設定されたネイチャーポジティブや、その実現に向けての目標である30by30等、近年生物多様性の保全が世界規模で重要視されつつあります。そこで注目されつつあるビオトープについて、利用者にわかりやすく伝えるための新たな展示、解説プログラムを検討、実施します。

③ ビオトープ公園の取り組みの周知方法の検討、実施

ビオトープ公園の取り組みを今までより更に広く区民に知ってもらうために、従来の区内イベントへの出展や広報活動に加え、HPコンテンツのリニューアルや自然共生サイトの登録といった新たな周知方法を検討、実施します。

2 実施体制と人員配置

公園開園時は常時３名以上を配置しました。

表２－（１）－１－１ 開園時の勤務者数

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
4月		6	4	4	4	7	7		3	3	6	6	6	5		4	4	5	4	6	5		4	5	3	3	6	5	6		
5月	3	4	6	6	6	6		5	5	4	6	5		4	4	4	6	5	6		4	4	4	6	5	5		5	4	3	6
6月	6	6		5	4	3	4	5	6		4	4	4	3	6	5		4	3	4	4	5	5		4	3	4	4	4	4	
7月		6	4	3	3	5	6		3	4	5	4	4	6	5		4	4	5	6	6		5	5	4	5	5	5		5	4
8月	4	4	6	5		5	4	3	4	4	6	6		3	4	3	6	5		3	5	6	4	5	5		6	5	3	5	6
9月	4		4	4	3	4	4	5		4	4	4	4	5	5	5		3	3	4	5	7	7		5	4	4	5	4		
10月	4	3	4	7	4	5		4	4	3	3	4	7	7		3	4	3	4	4		3	5	4	5	3	4		4	3	4
11月	3	5	4	5		4	3	3	5	6		4	5	4	6	4	5		4	3	5	6	3	4		3	5	4	6	4	
12月	4		6	5	4	5	4	5		5	4	5	5	5	4		3	5	3	3	5	4		7	4	4	3	4			
1月				4	5		4	3	3	4	6	4	4		3	3	4	4	4		3	3	3	3	5	3		3	3	3	5
2月	5	4		3	4	3	3	4	4		4	3	5	4	4	5		3	3	3	3	4	4	4		4	4	3			
3月	4	4		4	4	3	3	4	4		3	3	4	5	4	4		5	3	4	5	4	4	0		4	5	4	6	5	

3 解説業務

(1) 情報収集及び提供

①窓口解説及び電話対応等

当公園では、入館者のニーズを把握するとともに、自然情報の提供などを目的として、入館者へのインフォメーション、レンジャートークを行いました（表3－(1)－①－1）。また、電話での問い合わせ等についても対応しました。

今後も入館者と直接触れ合う事で当公園へのニーズを把握しながら、園内の季節の見どころ、ビオトープや生物多様性などを、体験や観察を交えながら解説していきます。

「インフォメーション」	入館者のニーズに応じて、施設やイベントの案内を行う。単なる情報提供に終わらず、自然の楽しみ方や自然への気づきにつながるように心がける。
「レンジャートーク」	入館者の関心に応じて、展示や季節の自然などを通じ解説を行う。実際に野外でも体験したいという気持ちにつながるように心がける。

表3－(1)－①－1 インフォメーション、レンジャートークの実施状況

月	インフォメーション			レンジャートーク		
	大人	子ども	合計	大人	子ども	合計
4	55	15	70	228	208	436
5	122	70	192	369	440	809
6	56	8	64	335	419	754
7	49	33	82	338	384	722
8	54	4	58	361	450	811
9	45	14	59	270	334	604
10	12	1	13	144	204	348
11	41	17	58	127	143	270
12	13	8	21	83	121	204
1	23	11	34	206	124	330
2	13	2	15	174	190	364
3	25	2	27	122	152	274
合計	508	185	693	2,757	3,169	5,926
令和5年度	351	81	432	726	811	1,537

②日常的な体験プログラム（日常プログラム、ビオレンジャー活動）

日常的な体験プログラムとしては、だれでも参加できる「日常プログラム」と、子ども向けボランティアであるビオレンジャーの登録者が参加できる「ビオレンジャー活動」の2種類を実施しました（表3－(1)－②－1）。

今年度は、日常プログラム、ビオレンジャー活動共に、参加者数が前年度よりも大きく増加しました。対して、回数は日常プログラム、ビオレンジャー活動共にわずかに減少しています。これは、家族連れの来園者の増加により、複数人が同時にプログラムを実施することが増加したためと考えられます。

次年度以降も、年間を通じて様々な日常プログラム、ビオレンジャー活動を提案し、「いつでも自然体験ができる公園」というイメージの定着を図ります。

表 3－（１）－②－１ 日常的な体験プログラム実施回数および参加状況

月	日常プログラム				バイオレンジャー活動			
	回数	参加者数			回数	参加者数		
		大人	子ども	計		大人	子ども	計
4月	138	390	723	1,113	44	0	486	486
5月	191	817	1,048	1,865	39	0	651	651
6月	134	1,012	1,063	2,075	47	0	1,046	1,046
7月	138	689	671	1,360	61	0	691	691
8月	142	641	732	1,373	57	0	566	566
9月	157	662	741	1,403	45	0	499	499
10月	106	371	429	800	51	0	280	280
11月	133	137	302	439	33	0	162	162
12月	91	51	167	218	19	0	45	45
1月	93	78	190	268	14	0	37	37
2月	79	46	118	164	20	0	61	61
3月	124	120	369	489	27	0	185	185
計	1,526	5,014	6,553	11,567	457	0	4,709	4,709

	日常プログラム		バイオレンジャー活動		計	
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数
令和6年度実績	1,526	11,567	457	4,709	1,983	16,276
令和5年度実績	1,534	9,887	487	4,285	2,021	14,172

③地域、区内関連施設との連携事業

・区内関連施設との連携

今年度は前年度に引き続き、足立区生物園とアメリカザリガニの駆除について連携を行いました。園内で捕獲したアメリカザリガニを生物園に運び、飼育している生物のエサとして利用してもらったほか、「足立の生きもの観察室」での展示に活用してもらいました。また、生物園内に当公園の PR のための展示スペースを借り受け、園内の四季の自然を紹介するマップを設置しました。詳細については「生物園展示 P.11」をご覧ください。

・区内公共施設との連携

今年度は足立区花畑図書館との連携事業として、9月16日（月祝）に「青空おはなし会～バッタ～」を実施しました。図書館のスタッフがバッタの登場する絵本を読み聞かせした後、当公園解説員によるバッタの捕まえ方や生息環境、生態の解説を行いました。

・教育機関との連携

今年度は千葉大学大学院の学生の研究協力と花畑図書館との連携イベントを行いました。研究協力では、「環境問題・環境教育に関する研究成果に対する市民の興味・関心の把握」に関する協力として、アンケート調査の設置場所を提供しました。連携イベントでは、9月16日に公園にて絵本の読み聞かせと絵本の題材となっている生きもののふれあいを行うイベントを行いました。

・学校ビオトープに関する連携

昨年度に引き続き、区内の浏江第一小学校、浏江小学校、六木小学校、区外の墨田区立第二寺島小学校の学校ビオトープについて、年間を通したコンサルティングを実施しました。

浏江第一小学校、浏江小学校、六木小学校では、毎月一回の委員会活動にスタッフが参加し、ビオトープに関する説明、校内の池の生きもの調査、プラ舟を用いたビオトープ設置作業についての助言を行いました。合わせて、先生方と今後のビオトープ整備と活用方法についての打ち合わせを行いました。

第二寺島小学校では、校内にビオトープを作る4年生の総合の授業の講師として、ビオトープやビオトープの管理方法に関する授業と実地でのアドバイスをを行いました。各小学校については来年度も引き続きコンサルティングを続けていきます。

また、今年度新たに区内の保木間小学校、区外の埼玉県富士見市立水谷小学校、ふじみ野小学校のコンサルティングを行いました。

保木間小学校では、校長先生とビオトープを管理するPTAの方に向けて、劣化してしまった池の防水シートの張り替えについて、物品の選定や張り替え作業当日の作業方法の指導を行いました。富士見市の2つの小学校では、4年生の総合の時間の講師として、ビオトープの作り方や身近な生きものの捕まえ方について、授業を行いました。これらの学校は、今後要請があれば随時アドバイスを行っていく予定です、

・その他の連携

3月に東京都環境局自然環境部が行っている条件付特定外来生物対策推進業務において、桑袋ビオトープ公園でのザリガニ釣りの事例を取り上げたいということで、ヒアリングを行いました。事例が記載される予定の報告書は令和7年度以降に完済される予定です。

④入館者モニタリング

・入園者数、入館者数の推移

表 3－（１）－④－１ 年間入園者数・入館者数推移

令和6年度と過去4年間の月別入園者数推移の比較 (単位:人)													計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
令和2年度	0	0	1,561	2,751	2,192	2,223	2,304	2,212	1,112	1,243	2,206	1,932	19,736
(令和2年度累計)	2,687	7,655	11,830	15,321	18,498	21,719	24,236	27,388	28,804	30,280	31,428	33,297	
令和3年度	2,687	4,968	4,175	3,491	3,177	3,221	2,517	3,152	1,416	1,476	1,148	1,869	33,297
(令和3年度累計)	2,687	7,655	11,830	15,321	18,498	21,719	24,236	27,388	28,804	30,280	31,428	33,297	
令和4年度	2,592	4,578	3,783	3,886	3,431	3,142	2,735	2,122	1,513	1,223	1,604	1,779	32,388
(令和4年度累計)	2,592	7,170	10,953	14,839	18,270	21,412	24,147	26,269	27,782	29,005	30,609	32,388	
令和5年度	2,351	4,653	5,044	3,827	2,618	3,787	2,901	3,130	1,316	1,054	1,287	3,625	35,593
(令和5年度累計)	2,351	7,004	12,048	15,875	18,493	22,280	25,181	28,311	29,627	30,681	31,968	35,593	
令和6年度	3,788	4,854	8,322	3,799	3,293	3,979	2,749	2,528	1,502	1,280	2,866	3,545	42,505
(令和6年度累計)	3,788	8,642	16,964	20,763	24,056	28,035	30,784	33,312	34,814	36,094	38,960	42,505	
前年同月比%	161.1	104.3	164.9	99.2	125.7	105.0	94.7	80.7	114.1	121.4	222.6	97.7	
前年同月累計比%	161.1	123.3	140.8	130.7	130.0	125.8	122.2	117.6	117.5	117.6	121.8	119.4	

令和6年度と過去4年間の月別入館者数推移の比較 (単位:人)													計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
令和2年度	0	0	0	1,883	3,012	2,462	1,833	1,611	740	1,008	1,306	1,218	15,073
(令和2年度累計)	0	0	0	1,883	4,895	7,357	9,190	10,801	11,541	12,549	13,855	15,073	
令和3年度	2,604	5,023	4,420	4,045	3,663	3,176	2,621	1,967	1,109	370	0	784	29,782
(令和3年度累計)	2,604	7,627	12,047	16,092	19,755	22,931	25,552	27,519	28,628	28,998	28,998	29,782	
令和4年度	3,081	4,827	3,633	5,270	3,895	3,226	2,585	1,720	1,033	919	1,148	1,608	32,945
(令和4年度累計)	3,081	7,908	11,541	16,811	20,706	23,932	26,517	28,237	29,270	30,189	31,337	32,945	
令和5年度	2,593	5,571	5,297	5,350	3,470	3,566	2,587	3,318	1,090	897	1,225	3,872	38,836
(令和5年度累計)	2,593	8,164	13,461	18,811	22,281	25,847	28,434	31,752	32,842	33,739	34,964	38,836	
令和6年度	4,726	5,583	9,382	4,159	3,897	4,530	2,674	2,361	1,162	973	2,205	3,347	44,999
(令和6年度累計)	4,726	10,309	19,691	23,850	27,747	32,277	34,951	37,312	38,474	39,447	41,652	44,999	
前年同月比%	182.2	100.2	177.1	77.7	112.3	127.0	103.3	71.1	106.6	108.4	180.0	86.4	
前年同月累計比%	182.2	126.2	146.2	126.7	124.5	124.8	122.9	117.5	117.1	116.9	119.1	115.8	

今年度の年間入園者数は 42,505 人で、目標としていた 36,000 人を達成しました。また、年間入館者数は 44,999 人と、目標としていた 36,500 人を上回りました（表 3－（１）－④－１）。学校ビオトープコンサルティングをはじめとした団体対応者数の増加と、ザリガニ釣りをはじめとしたその他日常プログラムの参加者数の増加が、増加の要因と考えられます。特に、ザリガニ釣りについては、以前より 6 月がザリガニのよく釣れる時期というアナウンスをしていたことにより、入館者数にして令和 5 年度の約 1.8 倍の方に来ていただきました。

・館内アンケート

出入口にて、入館者がいつでも記入できる自由記述形式のアンケートを設置しました。回収したアンケートは 96 枚でした。生きものや自然と触れ合った体験に関する記述が多く、当公園が様々な自然体験ができる場として認知されてきていることが分かりました。

今後も自由記述形式のアンケートを継続し、入館者のニーズを把握しながらより良い公園作りにつなげていきます。

表３－（１）－④－２ アンケート回答者集計

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
性別	回答数	9	7	28	12	3	2	6	8	3	5	3	10	96
	男性	3	3	15	5	3	0	2	3	2	1	2	3	42
	女性	6	4	12	6	0	2	4	5	1	4	1	7	52
	その他	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
年齢	回答しない	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	10代未満	8	4	12	8	2	2	4	4	1	2	0	6	53
	10代	1	3	10	1	1	0	0	1	1	1	0	1	20
	20代	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	1	0	4
	30代	0	0	3	1	0	0	1	0	0	1	0	0	6
	40代	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
	50代	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
	60代	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	0	4
	70代	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3
居住地	80代以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	区内	4	3	14	6	2	0	3	3	3	4	1	8	51
	区外	5	4	14	6	1	2	3	5	0	1	2	2	45

表３－（１）－④－３ アンケート内容（抜粋）

月	回収数	内容（一部抜粋）	月	回収数	内容（一部抜粋）
4月	9	・釣れなかったけど超楽しかったです。また行きたい。 ・バードウォッチングは初めてで、鳥を双眼鏡で見るのが難しかったけれど、楽しかったです。	10月	6	・最近の子供は、自然と触れ合う時間と空間が少ない。冒険することで、心が豊かになり、創造する力や社会性をはぐくみ、生物を命として大切に考えるようになります。池でイカダ遊びや木登りなどできるようになればと思います。
5月	7	・たくさんの生き物がいて楽しかったです。 ・ザリガニ釣りや虫取りの道具を貸し出しているのが嬉しいです。また来ます！	11月	8	・ヘビを久しぶりに見ました。昔は町中でも見かけましたが、今はもう見ようと思わないと見ることが出来ませんね。また会いに来ようと思います。 ・大学の学芸員の授業のレポートに取り上げたいと思い、来館しました。公園の魅力や事業がたくさん伝わる地域愛であふれた素敵な場所でした！
6月	28	・たくさんの生き物と触れ合える場としてとても魅力を感じました。職員の方もとても親切で今後も遊びに行きたいと思います。 ・自然の生物たちを観察できて良い公園だと思いました。ザリガニ釣り楽しかったです。職員さんも皆さん優しく説明などしてくださいました。またきたいと思います。	12月	3	・ぬりえや工作があって楽しいです。
7月	12	・気持ちの良い場所でした。子供たちがザリガニ取り楽しそうであるのがとても良かったです。 ・お兄さんがいろいろ教えてくれて楽しかったです。	1月	5	・ガマの穂であそびたくて来ました。息子たちもとても楽しんでいました。ありがとうございます。また来たいです。 ・展示物がとても興味深く、身近な生物も見られて、とても楽しかったです。
8月	3	・もっと広くしてください。楽しかったです。	2月	3	・ボランティアの人達や子どものボランティア達でつくっていくところだと思えました。小学校の跡地を利用したというのが、意味深い気がします。 ・色んな野鳥を観察でき、とても楽しく過ごせました。
9月	2	・ザリガニは釣れなかったけど、バッタやチョウは捕れました。	3月	10	・生きものとふれあう主旨がよくわかりました。すいていて快適でした。 ・ぬりえに夢中で楽しそうにしていました。作ることが好きなので短時間ででき、大人にも発見がありました。春の草花に触れることができ、貴重な体験でした。

(2) 展示物、蔵書の管理・運営

展示は以下の目標のもとに作成しました。

○情報の発信と受信の機能を持つ展示

野外に出る前の必要な情報、自然に親しむための工夫を提供するとともに、利用者からの情報も展示に活用します。

○きっかけを与える展示

知識のみを伝えるだけではなく、自然の見方やとらえ方、自然との接し方など、気づき、きっかけを提供することを目指します。

○野外へと誘導する展示

野外での自然体験に誘導するための導入、あるいはまとめとして位置づけます。

○当公園の利用方法を知らせる展示

入園者に、当公園がどういった公園なのか、どのような活動ができるのか、などの利用方法を知って頂くことを目的とします。

①展示物の企画・配置・管理・更新

・館内展示

入館者に公園の魅力を伝えられるよう努めました。解説員カウンターでは、季節ごとの日常プログラムの案内を掲示しました。また、黒板ボードを利用し、イベント情報やお知らせなどを発信しました。季節ごとにテーマを持つ季節展示では、定期的な入れ替えを行いました（表3－(2)－①－1）。

次年度も入館者にいつでも楽しんでもらえるよう、定期的な展示の更新と管理を行います。

表3－(2)－①－1 館内展示の更新一覧

日付	作業内容
週に1回	インフォメーションボードの更新
週に1回	桑袋ナウ記事紹介ボードの更新
月に1回	SNS記事紹介ボードの更新
4月2日	季節展示「み～んなテントウムシ」入れ替え
	季節展示「あ！カワセミだ」入れ替え
4月3日	ちびっこコーナーパネル入れ替え
4月8日	カエルすごろく貼り換え
5月12日	季節展示「ヘビ？トカゲ？カナヘビ！」入れ替え
	季節展示「トンボせいぞろい」入れ替え
6月27日	ちびっこコーナーパネル入れ替え
7月10日	季節展示「セミのぬけがらみつけ」入れ替え
10月1日	季節展示「ガマの花」入れ替え
10月6日	ハンズオン「シルエットクイズ」設置
11月3日	季節展示「おちばいろいろ！」入れ替え
12月12日	ちびっこコーナーパネル入れ替え
12月21日	来園者の作品コーナー更新
1月8日	季節展示「冬鳥ウォッチング」入れ替え
1月12日	季節展示「みてみてロゼット！」入れ替え
3月12日	季節展示「み～んなテントウムシ」入れ替え
	季節展示「あ！カワセミだ」入れ替え
	ちびっこコーナーパネル入れ替え

・ 野外展示

野外展示は公園を楽しんでもらうためのきっかけや、あやせ川清流館までの誘導として有効に活用できるもので、以下のような機能を考え設置しました。

○自然解説に関する展示

- ・ 自然の見方、楽しみ方の紹介
- ・ 身近な自然の利用方法や保全方法の提案

○施設の利用に関する展示

- ・ あやせ川清流館や浄化施設、トイレなど各施設の周知と誘導
- ・ 利用方法の周知（禁止事項やルールなど）

今年度は、野外掲示板の更新を随時行いました。また、あやせ川清流館入口の両脇に展示している「手のひらのビオトープ」では、季節ごとに寄せ植えを作成し、樹木の剪定等手入れを行いました（表3－(2)－①－2）。園内時計の下の野外掲示板には、イベント情報に加えて、日常プログラムを紹介した掲示を設置し、プログラムへの参加を促すものとなりました。手のひらビオトープ

では、入園者が自宅の庭やベランダで楽しめるような、生き物が利用できる環境づくりの展示になるようなものを設置しました。水が入っている鉢にはトンボが集まる様子、寄せ植えにはアゲハチョウの幼虫や、チョウが吸蜜に来ている様子が観察され、生物多様性やビオトープネットワークの普及啓発に役立ちました。

次年度も定期的な野外掲示板の更新を行い、手のひらビオトープを介したビオトープネットワークの普及啓発を目指した展示作りを行います。

表 3 - (2) - ① - 2 野外展示の更新一覧

日付	作業内容
4月25日	野外掲示板の更新
5月28日	野外掲示板の更新
7月18日	野外掲示板の更新
8月31日	野外掲示板の更新
9月3日	野外掲示板の更新
9月25日	野外掲示板の更新
12月22日	野外掲示板の更新
2月23日	野外掲示板の更新
3月30日	野外掲示板の更新
計	9 回

・生物園展示

生物園に設置した桑袋ビオトープ公園の紹介展示を、年 3 回更新しました。季節ごとに公園で見られる生きものや、日常プログラムの紹介を載せたパネル展示を設置しました。この展示をきっかけに当公園に遊びに来た入園者もあり、ビオトープ公園の周知につながりました。

②蔵書の管理・保管

当公園の図書コーナーでは、以下の分類で図書を収蔵しています。

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・大人の読み物（植物、動物、環境、歴史、自然体験・遊び、ビオトープ） ・図鑑（植物、昆虫、鳥、両生・爬虫類、その他の生き物） | <ul style="list-style-type: none"> ・児童書 ・絵本 |
|---|---|

季節に合わせたおすすめの本の展示と整理を行いました。また、ちびっこコーナーには小さなお子様が親しめるように生きものをテーマとした絵本を配置しました。

③生体展示の管理

園内で観察できる生きものを、環境ごとに展示しました。草地の水槽ではバッタやテントウムシなどの昆虫、林地の水槽ではアオダイショウやニホンヤモリなどの爬虫類、水辺の水槽ではモツゴやヌマチチブなどの魚類やスジエビ、クロベンケイガニなどの甲殻類を飼育し、展示しました（表 3－（2）－③－1、表 3－（2）－③－2）。

表 3－（2）－③－1 生体展示一覧

テーマ	展示期間	生きもの
水辺	通年	モツゴ
		ウキゴリ
		ヌマチチブ
		クロベンケイガニ
		スジエビ
	6月以降	ドジョウ
水辺の 外来種	通年	アメリカザリガニ
		ミシシippアカミミガメ
林地	通年	シマヘビ
		アオダイショウ
		ニホンヤモリ
	4月以降	ニホンカナヘビ
草地	4月～7月	ナナホシテントウ
		ナミテントウ
		ヒメカメノコテントウ
		ムーアシロホシテントウ
	7月～10月	ショウリョウバッタ
		コバネイナゴ
		オンブバッタ
		イボバッタ
		ヒナバッタ
	10月～11月	エンマコオロギ
		ハラオカメコオロギ
		ホシササキリ
		クビキリギス
	12月～3月	クビキリギス
		カマキリの卵硝
	3月以降	ナナホシテントウ
		ナミテントウ

表 3－（2）－③－2 生体展示一覧

日付	内容
4月11日	草地水槽①更新「冬越しの生きもの」→「テントウムシ」
7月2日	草地水槽①更新「テントウムシ」→「バッタ」
10月10日	草地水槽①更新「バッタ」→「鳴く虫」
12月15日	草地水槽①更新「鳴く虫」→「冬越しの生きもの」
3月以降	草地水槽①更新「冬越しの生きもの」→「テントウムシ」

(3) 体験型啓発事業の企画・実施

①体験型啓発事業の概要

・きっかけプログラム

1 自然のあそび屋台

その日の自然素材でできる初心者向けの小規模な自然体験プログラムを屋外で野あそびボランティアとともに実施。(当日受付)

2 ちびっこ自然体験

未就学児とその保護者を対象に、初心者向けの自然体験プログラムを実施。(事前募集)

・導入型プログラム

自然を体験したいという方に、気軽に参加できるプログラムを実施。(当日募集)

・発展型プログラム

自然に関心があり深く知りたいという方に、より深い内容のプログラムを実施。(事前募集)

表3－(3)－①－1 令和6年度各プログラムの実施状況

	回数	参加者数			平均 参加者数	定員	参加率	
		大人	子ども	計				
自然のあそび屋台	26 (26)	492 (304)	574 (359)	1066 (663)	41.0 (25.5)	なし	—	—
ちびっこ自然体験	16 (16)	75 (77)	60 (78)	135 (155)	8.4 (9.7)	各回10人	97%	(97%)
導入型プログラム	42 (43)	193 (193)	243 (243)	436 (436)	10.4 (10.1)	各回10人	109%	(109%)
発展型プログラム	12 (13)	129 (115)	151 (128)	280 (243)	23.3 (18.7)	20～50人	105%	(85%)
計	96 (98)	889 (689)	1028 (808)	1917 (1497)	20.0 (15.3)	—	104%	(97%)

※カッコ内は令和5年度の数値を表す

②きっかけプログラム（自然のあそび屋台、ちびっこ自然体験）

・自然のあそび屋台

自然のあそび屋台は、屋外に出展した屋台で行う季節の自然を利用した随時対応の自然体験プログラムです。実施は野あそびボランティアが担当し、毎回２種類のプログラムから参加者が体験したいプログラムを選べる形で実施しました。

今年度の自然のあそび屋台１回あたりの参加者数は約４１人で、前年度の約２６人よりも増加しました。このイベントを目当てにやってくる来園者も多くみられることから、この公園を代表するプログラムの一つということが言えます。（表３－（３）－②－１）

次年度も今年度同様に、野あそびボランティアによる自然のあそび屋台の運営を行い、より参加者が楽しめるプログラムを提供します。

表３－（３）－②－１ 自然のあそび屋台参加状況

回数	実施日	参加者数		
		大人	子ども	計
1	4月14日（日）	31	31	62
2	4月21日（日）	31	36	67
3	4月29日（月祝）	22	31	53
4	5月5日（日）	35	30	65
5	5月12日（日）	39	43	82
6	6月30日（日）	43	43	86
7	7月15日（月祝）	43	43	86
8	8月4日（日）	6	6	12
9	9月16日（月祝）	18	19	37
10	9月22日（日）	16	17	33
11	10月1日（火祝）	6	24	30
12	10月20日（日）	12	17	29
13	11月3日（日）	15	17	32
14	11月10日（日）	16	13	29
15	12月8日（日）	16	14	30
16	12月22日（日）	14	15	29
17	1月13日（月祝）	22	22	44
18	1月19日（日）	15	25	40
19	1月26日（日）	22	27	49
20	2月11日（火祝）	5	5	10
21	2月16日（日）	6	18	24
22	2月24日（月祝）	23	25	48
23	3月2日（日）	8	7	15
24	3月9日（日）	7	15	22
25	3月20日（木祝）	14	15	29
26	3月30日（日）	7	16	23
合計		492	574	1066
前年度合計		304	359	663

・ちびっこ自然体験

5～11月の毎月第4日曜日（9月は第2、第3日曜日）に、午前10時から11時と午後2時から3時の各回1時間、未就学児とその保護者を対象とした自然体験プログラムを実施しました。

月毎に、家族と一緒に生きものに親しんでもらうことができるプログラムを実施しました。今年度は昨年同様、例年応募者数の多い「家族で触ろう！水の生きもの」を2日間、4回実施しました。応募に対しての当選確率が上がり、イベントの需要と供給のバランスが良くなっていると見られます（表3－（3）－②－1）。終了後のアンケート（図3－（3）－②－4）結果では、参加者からは好評の声を頂いており、リピーターもみられました（表3－（3）－②－2、図3－（3）－②－1、図3－（3）－②－2）。また、区内からの応募率は61%となりました（図3－（3）－②－3）。

次年度は、今年度と同様に生きもの探しや自然遊びをテーマにして実施するとともに、人気のプログラムに限定し、回数を増やして実施します。また、プログラムを2日間に分けて0～3歳向けと4～6歳向けに、より発育段階に寄り添ったプログラムを展開します。

表3－（3）－②－1 ちびっこ自然体験参加状況

	実施日	プログラム名	回数	定員	応募者数			応募率 (%)	参加者数			参加率 (%)
					大人	子ども	計		大人	子ども	計	
1	5月26日（日）	家族で探そう！ダンゴムシ	2	20	10	10	20	100%	5	5	10	50%
2	6月23日（日）	家族で触ろう！ザリガニ	2	20	28	26	54	270%	13	13	26	130%
3	7月28日（日）	家族で探そう！カナブン	2	20	4	7	11	55%	8	5	13	65%
5	8月25日（日）	家族で探そう！バッタ	2	20	2	2	4	20%	7	5	12	60%
6	9月8日（日）15日（日）	家族で触ろう！水の生きもの	4	40	22	18	40	100%	22	18	40	100%
7	10月27日（日）	家族で遊ぼう！ドングリ	2	20	23	15	38	190%	11	8	19	95%
8	11月24日（日）	家族で遊ぼう！落ち葉	2	20	6	7	13	65%	6	6	12	60%
計			16	160	95	85	180	113%	72	60	132	83%
前年度（令和5年度）合計				16	160	123	123	154%	77	78	155	97%

表3－（3）－②－2 ちびっこ自然体験実施後の保護者アンケート結果

実施日	5月26日	6月23日	7月8日	8月25日	9月8日、15日	10月27日	11月24日	合計
タイトル	家族で探そう！ ダンゴムシ	家族で触ろう！ ザリガニ	家族で探そう！ カナブン	家族で探そう！ バッタ	家族で触ろう！ 水の生きもの	家族で遊ぼう！ ドングリ	家族で遊ぼう！ 落ち葉	
回答者人数	5	13	8	5	20	11	6	68
当公園のイベント参加回数								
はじめて	4	9	5	3	11	6	5	43
2回目	1	3	2	1	8	3	1	19
3回以上	0	1	1	1	1	2	0	6
イベントを知った理由（複数回答可）								
ニュースレター	2	2	3	0	7	2	2	18
あだち広報	0	5	0	0	4	3	4	16
公園ホームページ	0	2	0	1	2	2	0	7
解説員（スタッフ）から	2	0	6	2	0	1	0	11
足立区公式Facebook	0	0	0	0	0	0	0	0
ちびっこ自然体験ポスター・チラシ	3	2	0	0	4	4	0	13
桑袋ビオトープ公園SNS	0	2	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	2	3	0	0	5
イベントの満足度								
とてもよかった	4	10	8	3	17	8	4	54
よかった	1	3	0	2	3	3	2	14
あまりよくなかった	0	0	0	0	0	0	0	0
よくなかった	0	0	0	0	0	0	0	0

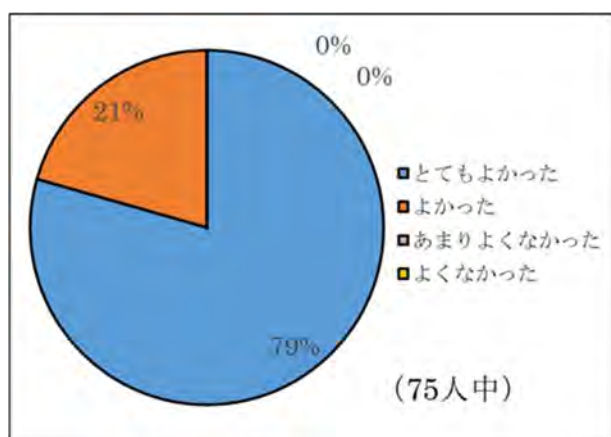


図 3 - (3) - ② - 1

ちびっこ自然体験の満足度

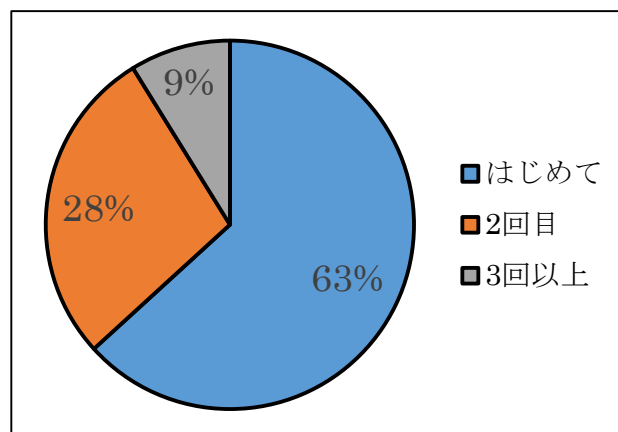


図 3 - (3) - ② - 2

ちびっこ自然体験のリピーター率

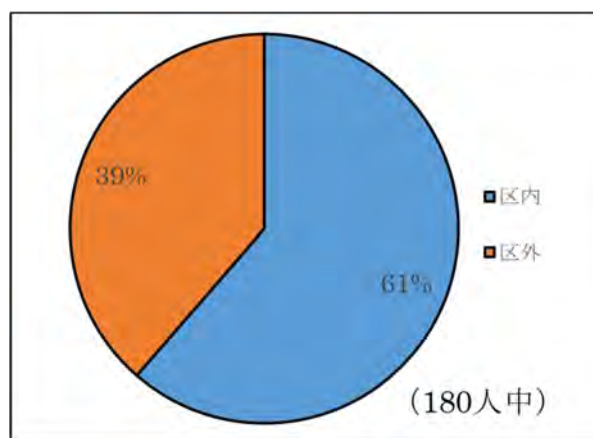


図 3 - (3) - ② - 3

ちびっこ自然体験応募者の区内率

ちびっこ自然体験に参加したみなさまへ

よりよいイベントづくりのため、アンケートにご協力ください。

1. ちびっこ自然体験に参加したことはありますか？ (あてはまるものに○) 今回がはじめて 2回目 3回以上
2. ちびっこ自然体験を何で知りましたか？ (あてはまるものに○) ・ニュースレター (イベントや公園のあたり) もらった場所 () ・あだち広報 ・公園ホームページ ・解説員から ・足立区公式Facebook ・ちびっこ自然体験ポスター、チラシ ・桑袋ビオトープ公園公式SNS ・その他 ()
3. 今回のちびっこ自然体験はいかがでしたか？ とてもよかった よかった あまりよくなかった よくなかった 理由 ()
4. 今回のちびっこ自然体験でのお子様の反応はいかがでしたか？
5. 保護者様のご感想を教えてください。
6. 今後やってみたいイベント、企画してほしいことはございますか？

ご協力ありがとうございました。

図 3 - (3) - ② - 4

ちびっこ自然体験保護者アンケートの内容

◆ 5月26日「家族で探そう！ダンゴムシ」

- ・ダンゴムシがとても大好きなので、とても楽しそうに参加していました。クイズも嬉しそうでした。
- ・たのしく参加していた。
- ・普段からダンゴムシを捕まえていたが、足や目を観察していて、とても楽しそうだった。
- ・いつもよりイキイキとした表情をしていました。1時間の中で集中できる所もいいなと思いました。
- ・子どもの自主性も養えるし、何よりも自然とふれあえる事が一番良かったです。ありがとうございました。
- ・大人も知らないダンゴムシの情報を知ることができて良かったです。
- ・子どもと一緒にダンゴムシについて知ることができてよかった。
- ・子どもが自然とふれあえるイベントは、都内だと貴重なのでとても良いです。

◆ 6月23日「家族で触ろう！ザリガニ」

- ・初めてザリガニに触れることができ、良い体験になりました。
- ・ザリガニに触ったことがなかった娘が体験を通して、触ったり、掴んだりできるようになって良い経験になったと思います。
- ・最初は怖がっていたが、触り方を教えて頂き、触れて嬉しそうだった。
- ・朝からとても楽しみにしていました。実際にザリガニに触ることができてとてもよろこんでいる様子でした。
- ・積極的に参加できた。興味がわいてきたみたいでよかった（ザリガニ、仕掛け、生態）
- ・ザリガニだけでなく、色々な生きものを見ることができてとても勉強になりました。
- ・とてもいいイベントでした。いろいろ勉強になったし、子どもたちもとっても楽しそうにしていた、ぜひまたこういうイベントに参加したいと思いました。
- ・少人数制で説明もわかりやすかった。
- ・自分自身も初めてザリガニに触れることができ、子どもと一緒に経験できて良かったです。
- ・久しぶりにじっくり自然や生きものと過ごす時間がとれました。

◆ 7月8日「家族で探そう！カナブン」

- ・初めて触れることができ、新鮮な反応をしていました。とても喜んでいました。
- ・興味を持って積極的に楽しんでいる様子でした。
- ・楽しく観察ができているようでした。
- ・まだ虫に触れないが、虫眼鏡で観察して楽しんでいた。
- ・子ども達の笑顔があふれていて、とても良い企画でした。プレゼン資料（手作り）もとてもかわいく素敵でした。
- ・なかなかできない体験なのでありがたいです。
- ・新しい発見があつてよかった。
- ・図鑑と照らし合わせをして楽しめたので良かったです。
- ・親子で自然体験ができて良かったです。
- ・身近な自然について教えてもらう機会がなかなかないので良かったです。

◆ 8月25日「家族で探そう！バッタ」

- ・虫が好きなのでよかった。
- ・とても楽しそうにしており、バッタを観察することで新しい知識も得られて良かったです。
- ・バッタとイナゴの見分け方。子どものよい反応を引きだしていただいた。
- ・また体験してみたい。
- ・親子で一緒に参加でき、とても楽しかったです。
- ・子どもと一緒に楽しめました。バッタの種類を色々知ることができて勉強になりました。

◆ 9月8日、15日「家族で触ろう！水の生きもの」

- ・普段触れない生きものを触る事ができてよかった。
- ・どんな生き物がいるのかなとワクワクしていました。触るのをとても楽しんでいました。
- ・とても楽しそうでした。生きものが好きになったと思います。
- ・触るだけではなく、仕掛けの回収から体験できるのが良かったです。
- ・自然体験は家で出来ない事が出来て、とても見ているだけでも楽しく感じます。
- ・子どもも含め、普段なかなか自然や生きものに触る機会がないため、貴重な経験ができました。
- ・親も一緒に体験できて良かったです。

◆ 10月27日「家族で遊ぼう！ドングリ」

- ・ドングリ拾いはもちろん、その後のすべり台や工作もとても楽しんでいました。
- ・ドングリが好きなので大好評でした。部屋からあまり遠くなく拾えたのも良かったです。
- ・子どもが楽しそうで良かったです。スタッフの方々も一緒にあそんでくれたりして、とても楽しそうでした。
- ・楽しそうにドングリ拾いをしてくれました。ドングリを転がす遊びもたのしくやっていてとても良かったです。
- ・日常で体験できないことを教えて下さり、ありがとうございました。ドングリの種類が少し学べました。
- ・毎度新しい発見があり楽しいです。
- ・解説員の方々が子どものペースで説明しており、分かりやすかった。
- ・年齢的にちょうど良い体験だったと思います。
- ・自然の中で遊べてよかった。

◆ 11月24日「家族で遊ぼう！落ち葉」

- ・落ち葉をまじまじみることは初めてで、楽しんでいました。
- ・夢中になって落ち葉探しをしていて、とても楽しそうでした。(4)
- ・初めてでしたが、とても楽しんでいました。
- ・子どもも楽しんでおり、都市部で暮らしていると落ち葉と触れ合える機会も少ないのでありがたいです。
- ・落ち葉拾いで、どう楽しめるかわかって良かったです。
- ・落ち葉をよく拾ってきますが、作品にすることがなかったので、楽しくできました。

- ・落ち葉を観察する機会がないので、子どもとじっくり見て知ることができて、良い経験になりました。
- ・自然に触れるいい時間になった。
- ・集めてみると色、形さまでおもしろかったです。

③導入型プログラム

今年度の導入型プログラムの定員に対する平均参加率は 109%（前年度 90%）となりました（表 3－（3）－③－1）。また、プログラムへの参加が「はじめて」の参加者が 44%（前年度 48%）、「2回目」または「3回以上」の参加者が合わせて 44%（前年度 41%）となりました。新規の参加者とリピーターの参加者のバランスが良く、集客力があり、繰り返し参加したいと思えるような満足度の高いイベントが実施できた結果だと考えられます（図 3－（3）－③－1）。

導入型プログラムの参加者の区内率は、区内が 67%、区外が 33%となっており、当公園は足立区民はもちろん、区外の方からも自然体験の場としての需要が高いことが伺えます（図 3－（3）－③－2）。

今後も子どもから大人まで楽しんでもらえるよう、桑袋ビオトープ公園ならではのプログラムを実施していきたいと考えています。

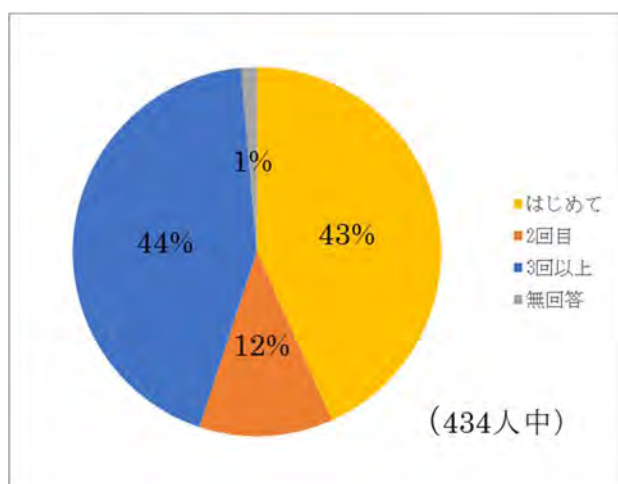


図 3－（3）－③－1
導入型プログラムのリピート率

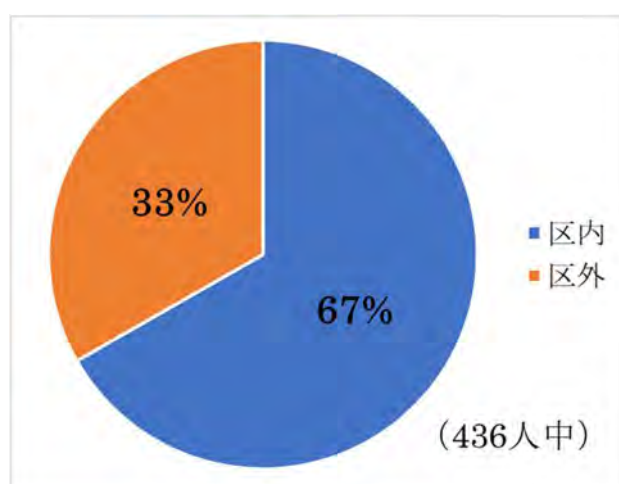


図 3－（3）－③－2
導入型プログラム参加者の区内率

表 3 - (3) - ③ - 1 導入型プログラム参加状況

回数	実施日	プログラム名	参加者数			定員	回数	参加率(%)	区内	区外
			大人	子ども	計					
1	4月7日(日)	春のアリ大調査	8	15	23	20	2	115%	15	8
2	4月28日(日)	テントウムシのマグネット作り	15	33	48	20	3	240%	22	26
3	5月3日(金祝)	草花でレジンのキーホルダー作り	10	17	27	20	3	135%	22	5
4	5月6日(月祝)	いろんな葉っぱで笹舟レース	11	13	24	20	2	120%	16	8
5	6月2日(日)	ミジンコ大調査	11	11	22	20	2	110%	13	9
6	7月7日(日)	めざせ！ザリガニマスター	8	8	16	20	2	80%	12	4
7	7月14日(日)	草花でデコパージュせっけん作り	10	10	20	20	2	100%	12	8
8	8月18日(日)	夏のバッタ大調査	15	13	28	20	2	140%	12	16
9	9月1日(日)	ハスの実でストラップ作り	8	8	16	20	2	80%	6	10
10	10月6日(日)	秋の昆虫大調査	10	11	21	20	2	105%	5	16
11	11月4日(日)	生きもの達のかくれ家を作ろう	8	14	22	20	2	110%	16	6
12	11月17日(日)	落ち葉でハンカチこすり染め	9	12	21	20	2	105%	11	10
13	12月1日(日)	植物スタンプで年賀状作り	6	12	18	20	2	90%	16	2
14	12月15日(日)	ガマの綿毛でクリスマス飾り作り	11	15	26	20	2	130%	21	5
15	1月5日(日)	じっくり観察！巳の置き物作り	10	11	21	20	2	105%	21	0
16	1月12日(日)	生きもの達の隠れ家をのぞいてみよう	8	9	17	20	2	85%	11	6
17	2月2日(日)	つくって飛ばそう！まねっこ綿毛	3	3	6	20	2	30%	6	0
18	2月23日(日)	ドロバチハウスを作ろう	13	14	27	20	2	135%	25	2
19	3月16日(日)	生きものマンションを作ろう	5	6	11	20	3	55%	11	0
20	3月23日(日)	作って食べよう！よもぎ餅	10	12	22	20	2	110%	18	4
合計			189	247	436	400	43	109%	291	145
前年度（令和5年度）合計			193	243	436	400	43	109%	276	160

④ 発展型プログラム

今年度の発展型プログラムの定員に対する応募率は 228.6%（前年度 172%）と、前年度より多くなりました（表 3－（3）－④－1）。こちらは、毎年応募率の高いナイトプログラムの応募者分散を目的に今年度はナイトプログラム数を 2 つに増やしましたが、そのどちらにも応募が殺到したことが要因と考えられます。参加率は 105%（前年度 85%）と令和になってから初めて 100%を超え、応募者のプログラムへの関心が高いことが伺えます。参加者層としては、区内の方が 69%（前年度 77%）となり、引き続き足立区民の貴重な自然体験の場であることが伺えます（図 3－（3）－④－1）。実施後に行ったアンケートを集計し、まとめました（表 3－（3）－④－2）。その結果、参加者の満足度については、「とてもよかった」「よかった」と回答した参加者が 97%と、ほぼ全ての参加者に満足してもらえた結果となりました（図 3－（3）－④－2）。また、リピート率は 57%（前年度 60%）となりました（図 3－（3）－④－3）。リピーターの中でも 2 回目、3 回以上で比較すると 3 回以上の回答の方が多いため、プログラムによって新規の来園者を増やしつつ、リピーターを確保出来ていることが伺えます。

次年度はこれまでほぼ一律となっていたプログラムの対象年齢を見直し、ターゲット層をより細かく設定する事によってより質の高いプログラムを実施します。

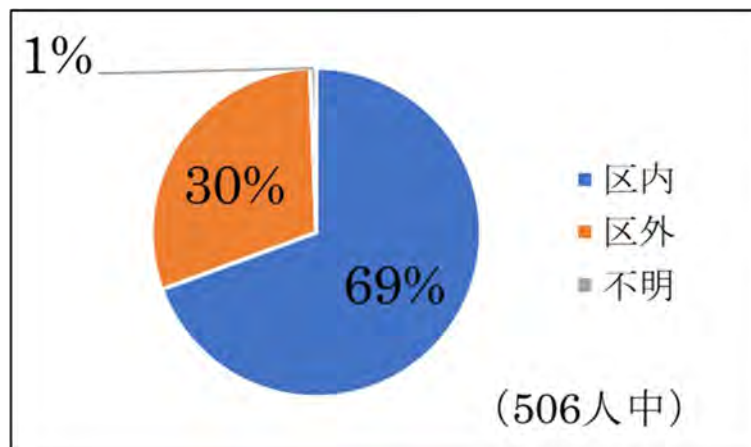


図 3－（3）－④－1

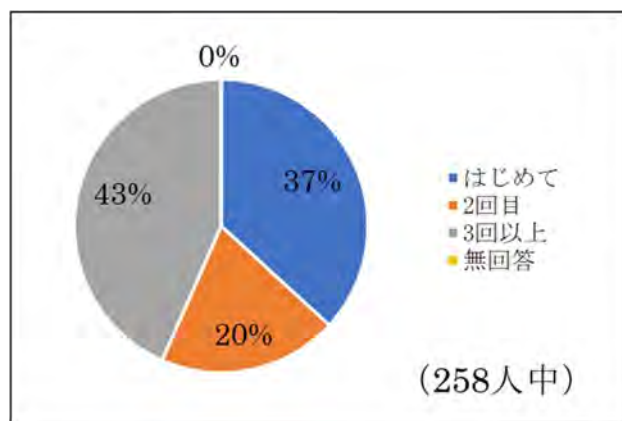
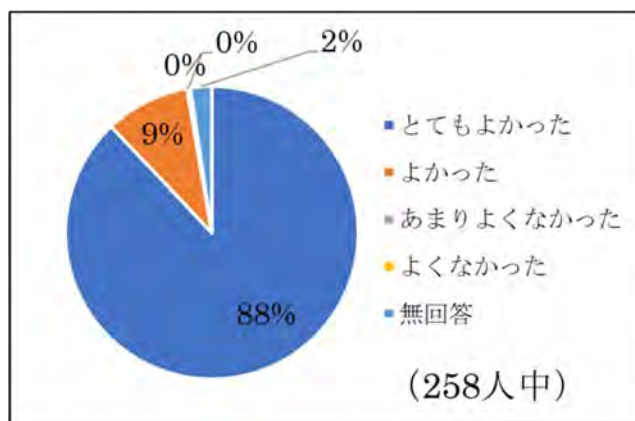
発展型プログラム応募者の区内率

表 3－（3）－④－1 発展型プログラム応募状況および参加状況

回数	実施日	プログラム名	応募者数				応募率 (%)	参加者数			定員	参加率 (%)
			大人	子ども	不明	計		大人	子ども	計		
1	5月19日（日）	カシナガ対策体験と伐採木できのこ作りにチャレンジ！	13	11	0	24	120%	12	11	23	20	115%
2	6月9日（日）午前	池に入って生きもの大調査	40	59	0	99	124%	36	49	85	80	106%
3	6月9日（日）午後											
4	6月16日（日）午前											
5	6月16日（日）午後	ナイトビオトープ～ザリガニ釣りとうしガエル探し～	52	47	3	99	495%	11	11	22	20	110%
6	7月21日（日）											
7	8月11日（日）	ナイトビオトープ～うき島池のボートクルーズ～	45	44	0	89	556%	8	8	16	16	100%
8	8月12日（月祝）											
9	9月23日（日）	うき島池のかい掘り体験	24	29	0	160	320%	21	26	47	50	94%
10	10月13日（日）	泥んこハス掘り体験	50	57	0	107	178%	30	35	65	60	108%
11	10月14日（月祝）											
12	2月9日（日）	野鳥のウッドクリップ作り	14	16	0	30	150%	11	11	22	20	110%
計			238	263	3	608	228.6%	129	151	280	266	105%
前年度（令和5年度）計（計13回実施）			237	253	1	491	172%	115	128	243	286	85%

表 3 - (3) - ④ - 2 発展型プログラム実施後のアンケート結果

実施日	5月19日	6月9日 6月16日	7月21日	8月11日 8月12日	9月23日	10月13日 10月14日	2月9日	合計
タイトル	カシナガ対策体験 と伐採木できのこ 作りにチャレン ジ!	池に入って 生きもの大 調査	ナイトビオトープ 〜ザリガニ釣り とウシガエル探し〜	ナイトビオトープ 〜うき島池の ボートクルーズ 〜	うき島池 のかい掘 り体験	泥んこハス 掘り体験	野鳥のウッ ドクリップ 作り	
回答者人数	23	79	22	16	44	52	22	258
当公園のイベント参加回数								
はじめて	10	25	8	14	15	22	1	95
2回目	1	22	5	2	6	13	2	51
3回以上	12	32	9	0	23	17	19	112
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
イベントを知った理由 (複数回答可)								
あだち広報	11	14	0	2	11	11	2	51
ニュースレター	8	56	11	12	27	24	22	160
イベントポスター・チラシ	0	0	0	0	0	0	0	0
スタッフから	0	2	0	2	1	0	0	5
公園ホームページ	2	12	2	0	4	12	0	32
足立区公式Facebook	0	0	0	0	1	0	0	1
ビオトープ公園公式SNS	0	1	4	0	0	3	0	8
その他	0	0	5	0	0	2	0	7
無回答	0	1	0	0	0	0	0	1
イベントの満足度								
とてもよかった	19	67	19	15	39	46	21	226
よかった	3	10	1	1	5	3	1	24
あまりよくなかった	0	0	0	0	0	0	0	0
よくなかった	0	0	0	0	0	1	0	1
無回答	0	2	2	0	0	2	0	6
生物多様性に興味を持ったか								
はい	23	78	22	16	44	48	20	251
いいえ	0	0	0	0	0	2	0	2
無回答	0	1	0	0	0	2	2	5
自然や生き物を大切にしようと思ったか								
はい	23	78	22	16	44	49	21	253
いいえ	0	0	0	0	0	1	0	1
無回答	0	1	0	0	0	2	1	4



発展型プログラム参加者アンケート結果（抜粋）

◆5月19日「カシナガ対策体験と伐採木できのこ作りにチャレンジ！」

- ・カシナガも害があるだけじゃなくて、森から林になって新しい生き物が来たり、生態系を循環させる役割もあるのかなと思いました。
- ・在来種でも被害が出る虫がいることがわかった。
- ・カシナガのことは知らなかったなので、興味深かった。

◆6月9日、16日「池に入って生きもの大調査」

- ・外来種が増えていて、在来種がいつか見られなくなってしまうのではないかと心配になりました。
- ・去年のイベントではスジエビが32匹捕れたのですが、今日は3匹しか捕れず、池の中も色々変化しているのだなと思った。
- ・池に入ることが日常では体験できない事なので、とても楽しかった。

◆7月21日「ナイトビオトープ～ザリガニ釣りとうシガエル探し～」

- ・ウシガエルを初めて見て大きさに驚きました。ザリガニのエサの食いつきも日中より強くて、違いを感じられとても楽しかったです。
- ・ウシガエルは飼ってもダメという事を初めて知りました！！新しい発見に感謝！！皆でウシガエルを静かに探すことも楽しかったです。
- ・ウシガエルが外来種ということすら知りませんでした。6000匹釣ってもまだ減らせないザリガニの強さに驚きました。とても勉強になり、楽しかったです。

◆8月11日、12日「ナイトビオトープ～うき島池のボートクルーズ～」

- ・思っていたより、たくさんの生き物を見ることができて楽しかったです。ツクツクボウシの羽化を初めて見れて嬉しかったです。夜のビオトープ公園はなかなか入れるチャンスは無いのでワクワクでした。
- ・昼と夜でやっていることが同じ生き物と違う生き物がいることがわかりました。
- ・いつもは見れない夜のビオトープ公園が見れて嬉しかったです。
- ・普段体験できなかったことを体験できてよかったです。夜はトンボやセミがじっとしているのを初めて見れてよかったです。

◆9月23日「うき島池のかい掘り体験」

- ・たくさん生物がとれて楽しかった。カダヤシの増え方にびっくりした。自然環境の維持は本当に難しいことだと実感した。
- ・生きものの数が多いと思った。ヘドロの量もすごく多くて疲れたが、楽しかった。
- ・ヘドロがいっぱいあると生きものが死んでしまうからヘドロをとることを学んだ。

◆10月13日、14日「泥んこハス掘り体験」

- ・人が入って池の中に空気を入れることで水がきれいになることなど、普段触れない知識を学ぶことができて良かった。

- ・ハスがどうなっているのか、また、トンボについても学べて楽しかった。
- ・今回参加してみて、生物多様性を学べるイベントとして、スタッフの説明がとても分かりやすくすばらしく、子どもも集中してお話を聞いていました。また参加したいです。

◆2月9日「野鳥のウッドクリップ作り」

- ・初めてバードウォッチングをして、こんなに楽しくて、可愛いんだ！と思いました。また参加したいし、自身でもバードウォッチングをしようと思います。
- ・ジョウビタキを見れなかったけど、ユリカモメを間近でみることができた。今度また来てジョウビタキみるぞー！
- ・このイベントは2度目の参加でした。前回よりもよくできてうれしかったです。鳥好きの方がこんなにいるんだと思いました。楽しい企画ありがとうございました！
- ・3時間の長時間イベントでしたが、短く感じた。初参加だが楽しかった。公園の周囲を歩いた事が初めてだったので面白かった。100円は安いと思った。色塗シートまで配ってくれるなんてとても丁寧だし上手に塗ろうと思った！また家族の思い出が出来た。来年も参加したい。

⑤団体向けのプログラムの企画と実施

当公園では、校外学習をはじめとする学校等の団体の積極的な受け入れを行っています。

今年度の団体対応の実績は 188 回、9255 人でした。前年度に比べると対応回数は 27 回、対応人数は 3410 人の増加となりました（表 3－（3）－⑤－1）。小学校への出張授業や、中学校の職場体験・職場訪問の受け入れ、図書館など行政施設との連携プログラムを行いました（表 3－（3）－⑤－2）。

次年度も、積極的に団体の受け入れを行います。

表 3－（3）－⑤－1 団体対応・出張授業・職場体験・職場訪問の月毎の対応数

月	回数	人数		
		大人	子ども	計
4月	8	450	314	764
5月	14	113	90	203
6月	17	867	881	1748
7月	18	119	323	442
8月	21	118	51	169
9月	15	249	495	744
10月	21	104	240	344
11月	23	249	579	828
12月	16	103	207	310
1月	14	102	104	206
2月	13	798	874	1672
3月	8	974	851	1825
計	188	4246	5009	9255
令和5年度	161	2562	3283	5845

表 3－（3）－⑤－2 団体対応・出張授業・職場体験の内訳

項目	回数		人数			
			大人	子ども	計	
保育園・幼稚園	46	(42)	165	737	902	(936)
小学校（園内対応）	6	(8)	22	288	310	(347)
小学校（出張授業）	3	(4)	12	165	177	(232)
小学校（学校ビオトープ）	28	(3)	85	1151	1236	(641)
中学校（園内対応）	0	0	0	0	0	0
中学校（職場体験・職場訪問）	10	(10)	0	30	30	(25)
高校	0	(6)	0	0	0	(6)
大学	14	(12)	85	0	85	(64)
介護施設	56	(50)	523	93	616	(493)
養護学校	6	(8)	88	0	88	(97)
行政関係	3	(2)	34	6	40	(34)
活動団体	6	(9)	98	20	118	(59)
外国	0	0	0	0	0	0
出張 P R	10	(7)	3126	2454	5580	(2911)
その他	0	0	0	0	0	0
計	188	(161)	4238	4944	9182	(5845)

（ ）内は令和5年の数値

⑥小中学校等を対象とする職場体験・職場訪問の受け入れ

今年度は中学校の職場体験・職場訪問を述べ10回行いました（表3－（3）－⑥－1）。幼稚園対応や自然情報の解説ボード作りといった解説業務、外来種駆除や除草などの環境管理を体験してもらいました。職場体験を通じて、働くことの楽しさと大変さを感じてもらえたほか、自然や生きものに関わる仕事に関心を持ってもらうことが出来ました。

表3－（3）－⑥－1 職場体験の内容

回数	日時	学校名	対応者数		
			大人	子ども	計
1	10月1日（火） 9:30～16:00	足立区立第十一中学校	0	4	4
2	10月2日（水） 9:30～16:00	足立区立花保中学校	0	3	3
3	10月3日（木） 9:30～16:00		0	3	3
4	10月4日（金） 9:30～16:00		0	3	3
5	11月20日（水） 9:30～15:00	足立区立花畑北中学校	0	2	2
6	11月21日（木） 9:30～15:00		0	2	2
7	11月22日（金） 9:30～15:00		0	2	2
8	11月26日（火） 9:00～15:30	足立区立東綾瀬中学校	0	3	3
9	11月27日（水） 9:00～15:30		0	3	3
10	12月17日（火） 14:00～14:30	足立区立花畑中学校	0	5	5
	計		0	30	30

⑦区内教育機関等を対象とする出張授業の企画と実施

今年度は小学校へのお出張授業を述べ3回行いました（表3－（3）－⑦－1）。対応を通して、生物多様性についての理解を深め、身近な生きものの観察の仕方等を学んでももらいました。

表3－（3）－⑦－1 出張授業の内容

回数	日時		学校名	実施プログラム	対応者数		
					大人	子ども	計
1	7月2日（火）	8:50～10:25	花畑小学校2年生	生きもの博士になろう	4	44	48
2	7月19日（金）	9:25～11:15	桜花小学校1年生	季節となかよし	4	67	71
3	9月10日（火）	8:45～10:20	栗原小学校1年生	校内の生きもの探し	4	54	58
	計				12	165	177

⑧区内教育機関等を対象とする学校ビオトープ運営サポートの企画と実施

今年度は小学校への学校ビオトープ運営サポートを述べ 28 回行いました（表 3－（3）－⑧－1）。対応を通して、生物多様性についての理解を深め、学校でのビオトープ作成と管理方法等を学んでいただきました。

表 3－（3）－⑧－1 学校ビオトープ運営サポートの内容

回数	日時		学校名	実施プログラム	対応者数		
					大人	子ども	計
1	6月4日（火）	13：20～15：00	富士見市立水谷小学校	ビオトープについて	3	70	73
2	6月25日（火）	10：45～12：00	富士見市立水谷小学校	生きものの住む場所探し・生きもの調査	2	70	72
3	7月1日（月）	10：30～11：15	墨田区立第二寺島小学校	ビオトープについて	3	88	91
4		14：40～15：25	瀧江第一小学校	池の生きもの探し	1	16	17
5	7月11日（木）	13：05～14：40	墨田区立第二寺島小学校	エコスタック作り	3	88	91
6	9月3日（火）	14：30～15：15	六木小学校	生きもの調査	2	15	17
7	9月9日（月）	14：40～15：25	瀧江第一小学校	ビオトープについて	2	20	22
8	9月12日（木）	14：30～15：30	瀧江小学校	ビオトープについて	2	17	19
9	9月18日（水）	10：30～12：05	墨田区立第二寺島小学校	ビオトープの管理方法	3	70	73
10	10月3日（木）	14：30～15：30	瀧江小学校	ビオトープの管理方法・生きもの調査	3	17	20
11	10月7日（月）	14：40～15：25	瀧江第一小学校	外来種とは	2	20	22
12		14：30～15：00	六木小学校	ビオトープの管理方法	2	18	20
13	11月1日（金）	10：30～12：05	墨田区立第二寺島小学校	生きもの探し	3	70	73
14	11月11日（月）	14：20～15：00	六木小学校	外来種について	2	18	20
15	11月18日（月）	14：40～15：25	瀧江第一小学校	ビオトープの管理方法	2	20	22
16	11月19日（火）	8：45～15：00	富士見市立水谷小学校	生きもの調査	3	70	73
17	12月2日（月）	14：40～15：25	瀧江第一小学校	エコスタック作り	1	20	21
18	12月18日（水）	10：30～11：15	墨田区立第二寺島小学校	ビオトープの管理方法・生きもの調査	3	70	73
19	1月9日（水）	14：30～15：30	瀧江小学校	ビオトープ作り	3	13	16
20	1月20日（月）	14：40～15：25	瀧江第一小学校	エコスタック作り	2	20	22
21	1月30日（木）	15：15～16：00	瀧江小学校	ビオトープ作り	2	14	16
22	2月5日（水）	14：40～15：25	富士見市ふじみ野小学校	ビオトープの定義と外来種	3	84	87
23	2月10日（月）	14：15～15：00	六木小学校	一年の振り返り	2	17	19
24		14：40～15：25	瀧江第一小学校	エコスタック作り	1	20	21
25	2月13日（木）	14：30～15：30	瀧江小学校	ビオトープ作り	2	16	18
26	2月19日（水）	10：30～11：15	墨田区立第二寺島小学校	ビオトープ引継ぎ式	6	170	176
27	2月22日（土）	10：00～15：00	保木間小学校	学校ビオトープ工事	20	0	20
28	3月3日（月）	14：40～15：25	瀧江第一小学校	ヒキガエルの観察	2	20	22
計					85	1151	1236

⑨内部研修の実施

適切な体験型普及啓発事業の実施のため、ビオトープに関する世界や日本での取り組みについて内部研修を行いました。

表 3－（3）－⑨－1 学校ビオトープ運営サポートの内容

実施日	内容
4月8日	ビオトープ管理概論
5月13日	COP15と昆明・モントリオール生物多様性枠組
8月13日	生物多様性戦略2023-2030
	ネイチャーポジティブ
11月25日	30by30
12月16日	自然共生サイト
2月3日	カーボンニュートラル
3月10日	多自然川づくり

4 区民協働

(1) 公園ボランティアの育成・支援

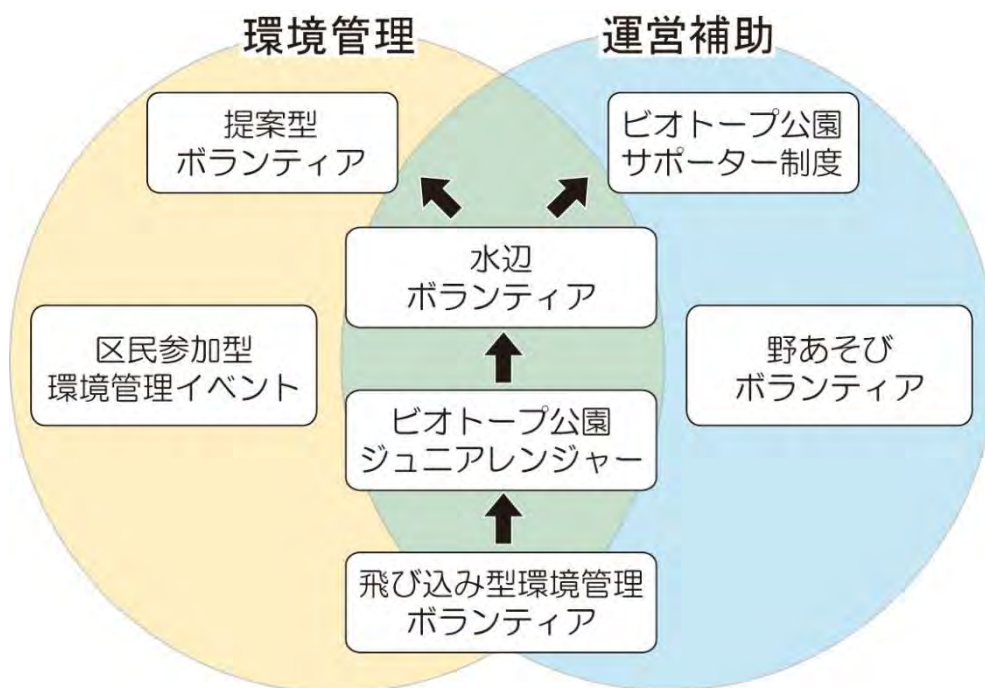


図4-(1)-①-1 区民協働型事業全体イメージ

表4-(1)-①-1 令和6年度 公園ボランティア登録者数

ボランティア名		人数
水辺ボランティア	6期生	2
	7期生	1
	8期生	10
	9期生	5
野あそびボランティア		11
提案型ボランティア	アクアドリームの会	2
	Teamアイリス	3
公園サポーター		9
ビオレンジャー		4,775

① 水辺ボランティアの概要

水辺ボランティアは、多様な生物の生息空間を創出するため、水辺の環境管理を中心に行う活動です。7期生までの任期は5年で、はじめの2年間で活動に必要な知識を得るための講座を受講してもらい、その後の3年間で実際の管理活動を行います。8期生以降は講座1年、活動管理1年の2年任期に変更となりました。任期を終えた後は、水辺ボランティアの継続、提案型ボランティアへの合流、新規立ち上げ、公園サポーターへの登録、卒業といった選択肢があります。年間の活動計画は、ボランティア自身で立てた上で足立区と調整し、決定しています。

② 水辺ボランティア6・7・8期生

水辺ボランティア6期生は9年目の活動、7期生は7年目、8期生は2年目の活動となりました。6・7・8期生合わせて11名での活動となりました（表4－（1）－①－1）。

ため池流末側の陸地部分を湿地エリアとしてゾーン分けを行い、ゾーン毎に景観の目標を立て、その目標に沿って活動を行いました（表4－（1）－②－1）。湿地エリアにアサザが生えるようにアサザの保護柵の作成や移植を行いました。また、ハンゲショウやミソハギが来園者にきれいに見えるように草刈り等の整備を行いました。その他に浮き島の整備、副産物の利用として刈草の裁断、堆肥の切り返しと袋詰めも行いました。

次年度、8期生が修了するのに合わせて卒業や提案型・公園サポーターへの移籍がありますが、9期生4名が活動に加わる為、14名での活動予定となっています。

引き続き水辺環境の生物多様性の保持や良い景観作りを目標に活動していきます。

表4－(1)－②－1 水辺ボランティアの参加状況

実施日	テーマ	参加人数			
		6期生	7期生	8期生	合計
4月13日	ボランティア調整会	1	1	8	2
4月20日	アサザエリア拡張方法検討 エコトーン作成 セイタカ抜き	0	1	7	8
5月11日	水辺の草原2・3の草刈り 水辺の草原1・4の外来種抜き取り ヨシゾーンの植物抜き取り モツゴ産卵床仕掛け	0	1	7	8
5月18日	水辺の草原1外来種の抜き取り 水辺の草原1ウキヤガラの刈り取り ヨシゾーンの植物抜き取り アサザエリア作成準備 ハンゲショウの刈り込み	1	0	7	8
6月8日	アサザゾーン板の打ち込み ハンゲショウの刈り込み ウキヤガラの刈り取り	1	1	7	9
6月15日	アサザゾーン板の打ち込み 草原1・4外来種抜き取り 草原2・3刈り取り ヨシゾーン手入れ 裁断	0	0	7	7
7月13日	アサザ移植 外来種駆除	1	1	8	10
7月20日	水辺の草原2・3の草刈り 水辺の草原1・4の外来種抜き取り ヨシゾーンの植物抜き取り 裁断・切り返し	1	0	8	9
8月17日	勉強会	1	1	7	9
	レクリエーション	1	1	7	9
	かい掘り説明会	1	1	7	9
9月14日	水辺の草原2の刈り取り ハスの葉刈り取り 裁断・切り返し	0	0	6	6
9月23日	「うき島池のかい掘り体験」補助	0	0	6	6
10月13日	「泥んこハス掘り体験」補助	0	0	7	7
10月14日	「泥んこハス掘り体験」補助	0	1	2	3
10月19日	うき島の整備	0	1	7	8
11月9日	外来種の抜き取り 裁断・切り返し	0	1	5	6
11月16日	外来種の抜き取り 水辺の草原2の刈り揃え	0	0	9	9
12月14日	水路の浚渫	0	0	3	3
12月21日	水辺の草原2・3・4枯れ草刈り 裁断・切り返し	0	1	6	7
1月11日	ボランティア新年懇親会	0	1	5	6
1月18日	振り返り 次年度計画の意見出し 刃物の整備	0	1	5	6
2月8日	ヨシゾーンの刈り取り	0	1	3	4
2月15日	水辺の草原1刈り取り 裁断・切り返し	0	1	7	8
3月8日	調整会準備 堆肥の袋詰め 裁断・切り返し	0	0	4	4
3月15日	修了式	0	1	7	8
計26回		8	17	162	179

③ 水辺ボランティア9期生

水辺ボランティア9期生は5名での活動となりました（表4－（1）－①－1）。「知る・考える」をテーマにビオトープ公園の管理に必要な調査法、管理法、チームワークについて月2回の講座を行い、2, 3月にはOJTを行いました（表4－（1）－③－1）。講座の欠席者には適宜振替講座を行いました。

今年度いっぱい1名が辞退したため、次年度からは4名が7・8期生と一緒に活動します。

表４－（１）－③－１ 水辺ボランティア９期生の参加状況

回数	月日	曜日	実施内容	活動人数
1	5月4日	土	水辺ボランティア説明会	1
2	5月11日	土	水辺ボランティア説明会	3
3	5月25日	土	水辺ボランティア説明会	1
4	6月1日	土	調査講座①「ビオトープネットワーク」：振替	1
5	6月8日	土	調査講座①「ビオトープネットワーク」	2
6	6月15日	土	調査講座②「身近な水辺の生きもの」	2
7	7月5日	金	調査講座①「ビオトープネットワーク」：振替	1
8	7月5日	金	調査講座②「身近な水辺の生きもの」：振替	2
9	7月12日	金	調査講座①「ビオトープネットワーク」：振替	1
10	7月13日	土	調査講座③「身近な動植物」	4
11	7月20日	土	管理講座①「ビオトープ管理」	5
12	8月10日	土	管理講座②「水生植物管理」	5
13	8月17日	土	管理講座③「水辺の管理」	5
14	8月17日	土	かい掘り説明会	3
15	8月17日	土	ハス掘り説明会	3
16	8月23日	金	調査講座②「身近な水辺の生きもの」：振替	1
17	8月23日	金	管理講座③「水辺の管理」：振替	1
18	9月13日	金	管理講座③「水辺の管理」：振替	1
19	9月13日	金	管理講座④「身近な外来種問題」：振替	1
20	9月14日	土	管理講座④「身近な外来種問題」	4
21	9月22日	日	施設主催イベント「うき島池のかい掘り体験」補助	4
22	10月13日	日	施設主催イベント「泥んこハス掘り体験」補助	2
23	10月14日	月祝	施設主催イベント「泥んこハス掘り体験」補助	5
24	10月19日	土	管理講座⑤調査講座④「循環型の管理、土壌生物観察」	4
25	11月9日	土	調査講座⑤「水質調査」	4
26	11月16日	土	活動講座①「コミュニケーショントレーニング」	2
27	12月14日	土	活動講座②「危険予測・安全管理」	2
28	12月21日	土	活動講座③「足立の自然史をたどる」	4
29	1月11日	土	ボランティア新年懇親会	2
30	2月8日	土	調査講座⑥「野鳥観察」	3
31	2月15日	土	管理実践①「OJT①」	3
32	3月1日	土	調査講座⑥「野鳥観察」振替	1
33	3月7日	金	活動講座①「コミュニケーショントレーニング」：振替	2
34	3月8日	土	管理実践②「OJT②」	4
35	3月8日	土	活動講座②「危険予測・安全管理」：振替	2
36	3月15日	土	活動講座④「年間計画の作成」	4
計36回				95

④ 野あそびボランティア

今年度は前年度から継続した既存のボランティアと新規ボランティアを合わせた 11 人で活動を行いました（表 4－（１）－①－１）。

自然のあそび屋台での自然体験プログラムの実施、公園の出張 PR の補助といった活動を行いました。自然のあそび屋台のプログラムは、ボランティア同士で意見を出し合って内容を決めました（表 4－（１）－④－１）。

また、10 月から新規野あそびボランティアを募集し、3 名が養成講座を受講しました。1 名が辞退したため、2 名が養成講座の内容確認のための最終テストに合格し、野あそびボランティアの活動に参加をする事となりました（表 4－（１）－④－２）。

来年度も引き続き新規ボランティアを募集していく予定です。

表４－（１）－④－１ 野あそびボランティア活動実績

回数	月 日	曜日	実施内容	活動人数
1	4月13日	土	ボランティア調整会	3
2	4月14日	日	自然のあそび屋台運営	6
3	4月21日	日	自然のあそび屋台運営	4
4	4月29日	月祝	自然のあそび屋台運営	3
5	5月5日	日	自然のあそび屋台運営	4
6	5月12日	日	プログラムミーティング	4
7			自然のあそび屋台運営	6
8	6月1日	土	しょうぶまつり出張PR補助	5
9	6月2日	日	しょうぶまつり出張PR補助	3
10	6月30日	日	自然のあそび屋台運営	6
11	7月15日	月祝	自然のあそび屋台運営	5
12	8月4日	日	自然のあそび屋台運営	7
13			かい掘り説明会	4
14			ハス掘り説明会	4
15	9月16日	月祝	自然のあそび屋台運営	2
16	9月22日	日	自然のあそび屋台運営	2
17			自然体験デー出張PR補助	4
18	9月23日	月祝	「うき島池のかい掘り体験」補助	5
19	10月1日	火	自然のあそび屋台運営	3
20	10月13日	日	「泥んこハス掘り体験」補助	4
21	10月14日	月祝	「泥んこハス掘り体験」補助	4
22	10月20日	日	自然のあそび屋台運営	4
23	11月2日	土	ふれあいまつり出張PR補助	2
24	11月3日	日	自然のあそび屋台運営	3
25	11月10日	日	プログラムミーティング	7
26			自然のあそび屋台運営	7
27	12月8日	日	自然のあそび屋台運営	6
28	12月22日	日	自然のあそび屋台運営	6
29	1月11日	土	ボランティア新年懇親会	7
30	1月13日	月祝	自然のあそび屋台運営	6
31	1月19日	日	自然のあそび屋台運営	5
32	1月26日	日	自然のあそび屋台運営	5
33	2月11日	火祝	自然のあそび屋台運営	5
34	2月16日	日	自然のあそび屋台運営	2
35			梅まつり出張PR補助	3
36	2月24日	月祝	自然のあそび屋台運営	3
37	3月2日	日	自然のあそび屋台運営	3
38	3月9日	日	プログラムミーティング	5
39			自然のあそび屋台運営	6
40	3月20日	木祝	自然のあそび屋台運営	3
41	3月29日	土	千本桜まつり出張PR補助	2
42	3月30日	日	千本桜まつり出張PR補助	2
43			自然のあそび屋台運営	5
計43回				185

表４－（１）－④－２ 野あそびボランティア養成講座実績

回数	月日	曜日	実施内容	活動 人数
1	5月11日	土	野あそび講座 説明会	1
2	8月24日	土	野あそび講座 説明会	1
3	9月1日	日	野あそび講座 説明会	1
4	9月7日	土	養成講座「公園と周辺の自然」	3
5	9月21日	土	養成講座「プログラム体験と解説の基礎」：振替	2
6	9月28日	土	養成講座「プログラム体験と解説の基礎」	1
7	10月5日	土	養成講座「解説におけるコミュニケーション」	2
8	10月26日	土	養成講座「解説におけるコミュニケーション」：振替	1
9	11月2日	土	養成講座「安全管理」	2
10	11月23日	土	養成講座「プログラムの作成」	2
11	12月7日	土	養成講座「プログラムの実践」	2
12	1月11日	土	ボランティア新年懇親会	2
13	1月25日	土	養成講座「合意形成トレーニング」	2
14	2月1日	土	養成講座「ステップアップテスト」	2
15	2月11日	火	養成講座「OJT」	1
16	2月16日	日	養成講座「OJT」	1
計16回				26

⑤ビオトープ公園ジュニアレンジャー（ビオレンジャー）

ビオトープ公園ジュニアレンジャー（以下ビオレンジャー）は、登録した子どもにスタンプカードを作成し、体系的な自然体験プログラムであるレンジャー活動を行うごとにスタンプがたまるとの仕組みです。レンジャー活動の詳細については表4-(1)-⑤-1をご覧ください。ビオレンジャーにはレベルを設定しており、一定個数スタンプがたまると、記念品をもらえるとともに、レベルをアップさせるためのテストを受けることができます。シルバーレンジャー以降のレベルアップのためには、スタンプに加えて鳥探しやサンクチュアリ探検といったレベルアップチャレンジを受ける必要があります。これにより、公園の事業に対する子どもの参加意欲を高めるとともに、公園利用時のモラルを育成することができました。

今年度はビオレンジャー登録者数が4775人になり、前年度と比較して958人増加しました（表4-(1)-⑤-2）。レベルごとで見るとグリーンレンジャーが増加しており、今年度の入園者数が過去最高となったことから、初めて公園に遊びに来た子どもが登録を行った結果だと考えられます。

一方でシルバーレンジャー以降の人数に大きな変化はありませんでした。

こうした人数の増加への対応や、シルバーレンジャー以降継続して活動をするモチベーションのある子どもの人数を増やす為、ビオレンジャーカードの電子化も視野に入れた運用の改定を進めていく予定です。

表4-(1)-⑤-1 ビオレンジャー活動一例

	活動タイトル	活動内容
自然しらべ	虫取り網を使った生き物調べ	虫取り網を使って、昆虫を採取・観察する。
	たも網を使った生き物調べ	たも網を使って、水生生物を採取・観察する。
	ザリガニ調べ	アメリカザリガニを捕獲し、数を記録する。
	鳥探し	園内で鳥を探し、見つけた鳥について気づいた事や調べた事を記録する。
解説員の仕事体験	飼育生物のエサ探し体験	館内で飼育している生物のエサとなる虫や草を採取する。
	外来植物の抜き取り体験	セイタカアワダチソウなどの外来植物の抜き取り、カウントを行う。
	クラフト素材集め体験	プログラム等で利用するクラフトの材料となる木の実などを採集する。

表4-(1)-⑤-2 ビオレンジャー登録者数

レベル	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	前年比
グリーン	2878	3316	3,159	3,620	3,743	4,702	+959
シルバー	82	76	49	67	65	64	-1
ゴールド	26	21	14	15	8	8	0
プラチナ	3	3	1	0	1	1	0
総計	2,989	3,416	3,223	3,702	3817	4775	+958

表4-(1)-⑤-3 ビオレンジャー活動数の内訳

活動タイトル	活動回数
ザリガニ釣り	2,599
たも網を使った生き物調べ	38
虫捕り網を使った生き物調べ	1,965
その他	107
合計	4,709

⑥提案型ボランティア制度

提案型ボランティアは、水辺ボランティア修了者がビオトープ公園の管理、運営に関わる自主的活動を提案し、活動として作り上げることでできる制度です（表４－（１）－①－１）。今年度は、アクアドリームの会、Teamアイリスの2団体が活動を行いました。

昨年度から、新規水辺ボランティアが卒業する令和7年3月まで特例として、提案型ボランティア1人での活動を可能としています。また、提案型ボランティア1人での活動の際は、スタッフ1人以上と活動しました。

・アクアドリームの会（活動10年目）

水辺ボランティア3期生修了者で立ち上げた「アクアドリームの会」が、2名で10年目の活動を行いました（表４－（１）－①－１）。ため池の水生動植物の生息環境を改善する事を目的に、ため池の池底に沈殿した落ち葉やヘドロの除去を実施しました。また、8月と2月にはヘドロの堆積調査を実施しました（表４－（１）－⑥－１）。

1月と3月の活動では、それぞれ水辺ボランティア8期生に所属するボランティア1名が活動の体験をされました。

次年度も「アクアドリームの会」の活動を継続して実施します。

表４－（１）－⑥－１ 提案型ボランティア「アクアドリームの会」参加状況

実施日	テーマ	参加人数
4月27日	ため池デッキ側の落ち葉やアオミドロの除去	1
5月4日	ため池デッキ側の落ち葉やアオミドロ、ヘドロの除去	1
6月1日	ため池デッキ側のアオミドロやヘドロの除去	1
7月6日	ため池深場のヘドロの除去	1
8月24日	ため池のヘドロ測定	1
9月7日	ため池深場のヘドロの除去	1
10月5日	ため池深場のヘドロの除去	1
11月2日	ため池サンクチュアリ側の落ち葉やヘドロの除去	1
12月7日	ため池サンクチュアリ側の落ち葉やヘドロの除去	1
1月25日	ため池サンクチュアリ側の落ち葉やヘドロの除去	1
2月3日	ため池のヘドロ測定	1
3月2日	ため池サンクチュアリ側の落ち葉やヘドロの除去	1
計12回		12
前年度（令和5年度）		
計10回		1

・Team アイリス（活動8年目）

水辺ボランティア4期生修了者で立ち上げた「Teamアイリス」が、3名で8年目の活動を行いました（表4－（1）－①－1）。

ため池のデッキ周辺の景観改善を目的に、カキツバタの管理作業を行いました。具体的にはカキツバタの花がら摘み、水に浸かりそうな葉の刈り取り、枯れ葉の除去などを行いました（表4－（1）－⑥－2）。副産物はサンクチュアリに運搬しました。また、カキツバタのないため池の箇所への移植作業も行いました。

次年度も「Team アイリス」の活動を継続して実施します。

表4－（1）－⑥－2 提案型ボランティア「Team アイリス」参加状況

実施日	テーマ	参加人数
4月13日	ボランティア調整会	3
4月27日	花のカウント、花がら摘み、アオミドロの除去	2
5月4日	花のカウント、花がら摘み、アオミドロの除去、雑草取り	2
6月22日	花のカウント、花がら摘み、枯れ葉取り	1
8月24日	枯れ葉取り、種子取り	2
10月5日	枯れ葉取り	1
10月26日	枯れ葉取り	2
11月30日	枯れ葉取り、落ち葉取り	3
12月21日	今年度の振り返り、次年度の計画書作成、枯れ葉取り、落ち葉取り	3
2月1日	次年度の計画書作成	2
3月1日	枯れ葉取り、ヘドロ取り	3
3月22日	枯れ葉取り、カキツバタ移植	2
計12回		26
前年度（令和5年度）		
計13回		27

⑦ビオトープ公園サポーター制度

ビオトープ公園サポーター制度は、公園に関わりたい気持ちを持つ水辺ボランティア修了者が、自分の都合に合わせて活動に参加できる制度です。

今年度は、樹名板の設置、当公園の水辺の環境管理イベントにおいての補助や、園内でのセイタカアワダチソウなど外来種の管理作業を行いました（表４－（１）－⑦－１）。

表４－（１）－⑦－１ ビオトープ公園サポーター参加状況

	実施日	テーマ	参加人数
1	4月5日	樹名板作成	1
2	4月16日	樹名板作成	1
3	5月11日	セイタカアワダチソウの抜き取り	1
4	5月15日	樹名板作成	1
5	6月18日	樹名板作成	1
6	6月29日	セイタカアワダチソウの抜き取り	1
7	7月4日	樹名板作成	1
8	7月27日	セイタカアワダチソウの抜き取り、ハスの花托取り	1
9	8月3日	セイタカアワダチソウの抜き取り	1
10	8月7日	樹名板作成	1
11	9月10日	樹名板作成	1
12	9月14日	セイタカアワダチソウの抜き取り	1
13	9月23日	かい掘り体験補助	1
14	10月13日	ハス掘り補助	1
15	10月23日	樹名板作成	1
16	11月9日	セイタカアワダチソウの抜き取り	1
17	11月16日	セイタカアワダチソウの抜き取り	1
18	12月18日	樹名板作成	1
19	1月9日	樹名板作成	1
20	2月13日	樹名板作成	1
21	2月16日	出張PR補助	1
22	3月15日	セイタカアワダチソウの抜き取り	1
23	3月21日	樹名板作成	1
24	3月29日	出張PR補助	1
25	3月30日	出張PR補助	1
全25回			25

⑧ 飛び込み型環境管理ボランティア

本活動は、公園利用者なら誰でも参加できる活動で、利用者に園内の環境管理の一端を担ってもらうものです（表４－（１）－①－１）。具体的には、「ザリガニ調べ」、「虫とり網を使った生き物調べ」の２種類の活動を行い、延べ 7315 人（前年度 6086 人）が参加しました（表４－（１）－⑧－１）。

本活動は当公園の特色ある活動であり、次年度も継続して実施します。

表４－（１）－⑧－１ 飛び込み型環境管理ボランティア参加状況

活動名	参加者数		
	大人	小人	合計
ザリガニ調べ	3672	3,011	6683
虫捕り網を使った生きものの調べ	632		632
合計	4304	3011	7315

・ザリガニ調べ

ザリガニ調べは、園内の水辺で増えすぎた外来種のアメ리카ザリガニの数を減らすことを目的とした活動です。受付をした参加者に必要な道具を貸し出し、園内の水辺でアメ리카ザリガニを釣ってもらいます。釣れたアメ리카ザリガニは全て解説員が受け取り、足立区生物園へ搬送して飼育生物のエサや、ふれあいに利用してもらいました。今年度は、延べ 8,062 人（前年度 7,292 人）が参加しました。アメ리카ザリガニの駆除数については、「生物管理 P.56」をご覧ください。

・虫とり網を使った生き物調べ

虫とり網を使った生き物調べは、参加者に園内の生物多様性を実感してもらうとともに、園内の生き物のデータを集めることでモニタリングの精度の向上を目的とした活動です。受付をした参加者に虫とり網を貸し出し、園内で生き物をとってもらいます。とれた生き物は観察した後、園内に逃がしてもらいました。今年度は、延べ 621 人（前年度 485 人）が参加しました。また、子どもの参加についてはビオレンジャー限定の活動となる為、ビオレンジャー活動の欄をご覧ください。

⑨区民参加型環境管理イベント

園内の環境管理の一端をイベント参加者に担ってもらうことで、環境管理の必要性を伝えるための活動です。今年度は、「カシナガ対策体験と伐採木できのこ作りにチャレンジ!」「うき島池のかい掘り体験」「泥んこハス掘り体験」の３つのイベントを実施しました。

次年度も環境管理の要素を取り入れたプログラムを積極的に実施します。

5 広報活動

(1) 当公園に関する情報発信と情報収集

今年度は都市部周辺の自然を感じることができる公園の1つとして、雑誌メディアの取材を受ける機会がありました。また、今年度より新たなwebメディアの活用を開始し、施設情報やイベント情報の発信を行いました。また、こちらから発信したイベント情報が掲載された新聞やWebサイトを中心に、情報収集を行いました(表5-(1)-1)。

次年度も各種メディアに取り上げていただけるよう、地域メディアや報道広報課との連携をはかり、効果的なプレスリリース文の作成などを積極的に行います。

表5-(1)-1 新聞・雑誌・TV・Webサイトなどへの掲載一覧

掲載報道機関名		報道日	内容
主 な 報 道	あだち広報	毎月10日、25日	イベント案内
	花畑地域学習センター「フレンズ」	毎月1日	イベント案内
	足立区公式HP	毎月	NL掲載
	足立区公式Twitter	毎月	NL掲載
	足立区公式Facebook	7月31日	イベント案内「家族で探そう!バッタ〜ちびっこ自然体験〜」
	足立区観光交流協会HP	11月29日	イベント案内「植物スタンプで年賀状作り」
		7月31日	イベント案内「家族で探そう!バッタ〜ちびっこ自然体験〜」
		毎月	イベント案内
		4月5日	イベント案内「自然のあそび屋台」、「デントウムシのマグネット作り」
		5月5日	イベント案内「自然のあそび屋台」、「いろんな葉っぱで笹舟レース」、「池に入って生きもの大調査」
		6月5日	イベント案内「自然のあそび屋台」
		7月5日	イベント案内「草花でデコパージュせっけん作り」
		8月5日	イベント案内「夏のバッタ大調査」、「ハスの実でストラップ作り」、「うき島池のかい掘り体験」
		9月5日	イベント案内「自然のあそび屋台」
		10月5日	イベント案内「自然のあそび屋台」
		11月5日	イベント案内「落ち葉でハンカチこすり染め」
		12月5日	イベント案内「自然のあそび屋台」、「ガマの綿毛でクリスマス飾り作り」
		1月5日	イベント案内「生きもの達のかくれ家をのぞいてみよう」、「自然のあそび屋台」、「野鳥のウッドクリップ作り」
		2月5日	イベント案内「自然のあそび屋台」、「ドロバチハウスを作ろう」
		3月5日	イベント案内「生きものマンションを作ろう」、「作って食べよう!よもぎ餅」
		11月26日	公園案内、イベント案内「植物スタンプで年賀状作り」、「ガマの綿毛でクリスマス飾り作り」
		12月16日	イベント案内「野鳥のウッドクリップ作り」、「生きもの達のかくれ家をのぞいてみよう」、「じっくり観察!巳の置き物作り」
		1月22日	イベント案内「つくって飛ばそう!まねっこ綿毛」、「ドロバチハウスを作ろう」
		2月25日	イベント案内「生きものマンションを作ろう」、「作って食べよう!よもぎ餅」
		3月28日	イベント案内「家族で探そう!ダンゴムシ」、「家族で触ろう!ザリガニ」、「ミジンコを見てみよう!」、「つかまえて観察!生きもの図鑑作り〜春編〜」
報 他 の 道 の	交通新聞社「散歩の達人 2月号」	1月21日	公園の紹介
	WEBメディア「さんたつ by 散歩の達人」 「水と歩く」を歩く	1月21日	公園の紹介
	つくばエクスプレス ARUKUvoi.5	1月30日	公園およびあやせ川清流館の紹介

(2) 印刷物による情報発信（ニュースレター、ポスター、チラシ）

イベント案内とビオトープに関する普及啓発を兼ねたニュースレターを発行し、近隣小学校 3 校への全児童配布の他、区内の様々な施設への配布、隣接する草加市や八潮市の公共施設への配布を行いました。（表 5－（2）－1）。

表 5－（2）－1 ニュースレター発行回数と部数

号数	発行日	発行部数
NL5月号	2024年 4月3日	5,000 部
NL6月号	2024年 5月4日	5,000 部
NL7月号	2024年 6月9日	5,500 部
NL8・9月合併号	2024年 6月29日	5,500 部
NL10月号	2024年 9月4日	5,500 部
NL11月号	2024年 10月3日	5,500 部
NL12月号	2024年 11月9日	5,500 部
NL1月号	2024年 11月29日	5,500 部
NL2月号	2024年 12月24日	5,500 部
NL3月号	2025年 2月5日	5,500 部
NL4月号	2025年 2月28日	5,500 部
計11回		59,500 部

表 5－（2）－2 ニュースレター掲載内容

掲載面	項目	内容
表	イベント情報	発行月の発展型イベント、導入型イベント、自然のあそび屋台、ちびっこ自然体験の実施内容を掲載。
	4コマ漫画	公園に関係する内容で、楽しそうな雰囲気が出るよう表面に掲載。
裏	公園のみどころ紹介	発行月に見られるであろう、公園のとおきおきの自然情報を掲載。
	ビオトープ生きもの図鑑	発行月に見られるであろう生きものを1種掲載。
	ボランティア日記	水辺ボランティア、提案型ボランティア、野あそびボランティアの活動報告を掲載。
	こんなイベント行いました！	発行月以前に実施したイベントの内容を掲載。

(3) Web サイト等インターネットを活用した情報発信

Web サイトに関する業務として、公園 Web サイトの運用、Facebook、X（旧 Twitter）、Instagram の運用を実施しました。

・Web サイトの運用

Web サイトの更新頻度は週に 1 回以上としました。具体的には「イベント情報」や「ボランティア活動報告」、「NL」を毎月更新し、自然の見どころを紹介する「桑袋ナウ」を週 1 回更新しました。その他、ハスの花が見られる時期（6 月 18 日から 8 月 4 日）には「ハスナウ」を週 1 回更新し、ハスの写真及び見られた花とつぼみの数を掲載しました。

トップページでは、更新情報を掲載するとともに、その時期の自然の見どころなどの来園につながりそうな情報や、開園時間の変更、新型コロナウイルスに関するお知らせ等、公園利用者へのお知らせを不定期に掲載しました。

表 5－（3）－ 1 に Web サイトユーザー数の推移を示しました。4、5、6 月のユーザー数は過去最高となりました。今年度はザリガニ調べの参加者も過去最高を記録しており、ザリガニ釣りの情報を得るためにユーザー数が増加したと考えられます。

次年度も、新規の利用者が必要な情報を得やすいページ作りを意識して、更新作業と Web サイト作成を行います。

表 5－（3）－ 1 Web サイト過去 5 年間の月間ユーザー数推移

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間ユーザー※	計測方法
2020	1,437	2,532	2,473	2,677	2,606	2,010	1,321	1,062	713	947	1,249	1,105	18,710	UAユーザー
2021	1,803	3,029	2,534	2,534	2,090	1,817	1,329	1,286	862	958	839	1,211	19,106	
2022	1,789	3,101	2,478	2,575	2,131	1,822	1,469	1,169	768	900	880	1,161	19,284	
2023	1,468	1,911	3,135	1,945	2,822	2,185	1,963	3,970	1,066	969	959	1,190	22,643	GAユーザー
2024	2,258	3,669	3,463	2,529	2,386	2,194	1,548	1,328	824	1,082	943	1,237	22,410	

※年間ユーザーは各月の合計ではなく、該当年間で利用したユーザーの総数です。



図 5－（3）－ 1 過去 5 年間の月間ユーザー数

・ Facebook の運用

Facebook では、イベントの告知、実施報告、桑袋ナウ等を週に 2 回程度投稿しました。フォロワーは 3 月 31 日時点で 170 人となり、前年度との増減はありませんでした。前年度と同じく、公園に実際来園する層と Facebook 利用者の層が離れてきていると考えられます。次年度は、今年度と同様に、イベントの告知、実施報告や桑袋ナウなどの読み物となる発信を行い、実際に公園に頻繁に来ることができなくても、公園の様子が分かり、楽しめる投稿を発信します。

・ X (旧 Twitter) の運用

X (旧 Twitter) では、イベントの告知、公園の自然情報、その他お知らせ等を週に 2~3 回程度投稿しました。フォロワーは 3 月 31 日時点で 321 人となり、前年度と比較して 73 人の増加となりました。公園の投稿に対して、多くのフォロワーを持つアカウント（インフルエンサー）が拡散することにより、閲覧者やフォロワーが増えるといった現象が何回か見られました。

次年度は、今年度と同様に発信を行うとともに、発信の頻度を増やせる運用を行います。

・ Instagram の運用準備

Instagram では、公園の主な利用者層である未就学児～小学校低学年の親子向けに、公園の魅力や開催イベントを知ってもらうため、週に 2~3 回程度投稿しました。フォロワーは 3 月 31 日時点で 179 人となり、前年度と比較して 69 人の増加となりました。次年度は、今年度と同様に、視覚に訴える投稿を意識して、公園の周知に繋がるような運用を行います。

(4) 園外での PR 活動

今年度は、「しょうぶまつり」など計 7 つのイベントに出展し、公園の PR 活動を行いました（表 5－（4）－1）。

全ての出張 PR でパネルによる公園紹介を行い、それに加えてしょうぶまつりや梅まつりでは草花ステンシル、ふれあいまつりと桜花住区まつりではドングリクラフト、千本桜まつりでは土の生きものとのふれあいといったプログラムを行いました。これにより、多くの来場者に当公園のブースに足を運んでもらえたのと同時に、ビオトープ公園で体験できるプログラムにも興味をもってもらうことができました。来場者からは、「公園を知っているものの、実際に行ったことはないので今度行ってみたい」という声も多く聞かれました。今後も積極的に園外での PR 活動を行い、情報発信を行います。

表 5－（4）－1 出張 PR の対応数

実施日	園外PR活動内容	場所	対応者数		
			大人	子ども	計
4月6日	都市農業公園花まつり	都市農業公園	166	112	278
4月7日			235	175	410
6月1日	しょうぶまつり	しょうぶ沼公園	471	433	904
6月2日			260	220	480
9月25日	あだち自然体験デー	新田わくわく♡水辺広場	188	214	402
11月2日	ふれあいまつり	花畑地域学習センター	40	36	76
11月10日	桜花住区まつり	桜花住区センター	66	79	145
2月16日	梅まつり	大谷田公園	744	469	1213
3月29日	千本桜まつり	舎人公園	56	38	94
3月30日			900	678	1578

6 維持管理業務

(1) 巡回点検

・ 日常点検

日常点検は、開園日の開園前と午後に1回ずつ実施しました。園内を歩いて周り、危険物や危険箇所の有無、園路やベンチといった入園者の利用箇所の安全確認を行いました(表6-(1)-1)。

表6-(1)-1 巡回点検の月別実施回数

作業名	月別実施回数												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
日常点検	25	27	26	26	27	25	27	27	26	27	27	29	319

(2) あやせ川清流館の管理

あやせ川清流館の管理を必要に応じて実施しました。主に、風除室の冊子やチラシ、ポスター、パンフレットの設置と撤去、消耗品の交換を行いました(表6-(2)-1)。

表6-(2)-1 あやせ川清流館の管理の月別実施回数

作業名	月別実施回数												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
冊子、チラシ、ポスター設置・撤去	19	21	11	14	11	15	10	16	7	9	12	12	157
涼所案内のぼり設置	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
資源ゴミ廃棄準備	2	1	2	2	2	0	2	2	2	2	2	2	21
資源ゴミ置き場清掃	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
大掃除	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
机高さ調整	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コンセントタップ清掃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アルコール補充	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
年末閉園作業	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
閉館時間変更作業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
定期清掃準備	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
定期清掃立ち会い	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
定期清掃片付け	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
点検(防火、空調)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
セミナー室パーテーション不良部点検立ち会い	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 緊急作業

緊急作業として強風後の点検を行いました(表6-(3)-1)。

表6-(3)-1 緊急作業の月別実施回数

作業名	月別実施回数												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
強風対策	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
強風後点検	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
光化学スモッグ注意報掲示	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
台風被害状況の確認	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
台風被害復旧作業の立会い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雪対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（４）その他の維持管理作業

その他の維持管理作業としては、入園者が安全に公園を利用できるよう、必要に応じて管理作業を行いました。主に、柵の簡易修繕、その作業に必要な材料の準備、非公園利用者による駐車場利用の対応、アーススミラブ発泡錠の散布、年末年始の長期休園前の施錠の最終点検などを行いました。また、必要に応じて害虫点検とその駆除を行いました（表６－（４）－１）。

表６－（４）－１ その他の維持管理作業の月別実施回数

作業名		月別実施日数												合計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
修繕	ハス田柵	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	土留め補修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ドロバチハウス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	木製柵	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	3
	解説板	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	デッキロープ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	エコスタック関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	ボランティア倉庫	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	柵の作成	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南京錠オイル差し	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
設置	ボルト締め	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
	注意看板	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	4
	野外柵（立入防止柵など）	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
	バック駐車掲示	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	年末年始休園案内の掲示	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
駆除 点検	解説版	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	アシナガバチ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	コガタズメバチ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ミノウスバ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヒロヘリアオイラガ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	タケノホソクロバ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	チャドクガ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
機器 点検	セアカゴケグモ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	刈払い機点検メーカー持ち込み	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	刈払い機点検見積	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	芝刈機点検整備対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	芝刈機点検見積	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	AEDパッド交換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	車関係（車検、ドライブレコーダー設置）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
	園内放送	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	募金用種の補充	2	6	3	0	1	0	0	2	4	4	1	2	25
	募金用種の発注	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	駐車場対応	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
	アーススミラブ発泡錠の散布	0	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	7
	堰板の抜き取り	0	0	0	0	0	2	3	2	2	2	3	1	15
	堰板の復旧	0	0	0	0	0	2	3	2	2	1	1	2	13
	取水ポンプの清掃、点検、修繕	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	4
	排水桝の清掃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	炭洗い・炭交換	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	死骸処理（野鳥など）	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
	土入れ・穴埋め	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	掃除（野外掲示板、材木置き場、巣箱）	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	4
	こも巻き設置、撤去、掲示物設置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他（撤去物）	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	4

7 危機管理

(1) 危機管理の概要

桑袋ビオトープ公園の利用者、スタッフの危機を未然に防止するとともに、事故が発生した場合に被害を最小限に止めるという考えのもと危機管理を行いました。具体的には PDCA サイクルに則って事故予防、事故の適切な対応、事後検証、見直しを行いました（図 7－（１）－１）。また、必要に応じてスタッフの教育・訓練を行いました。

これらの取り組みにより、今年度は大きな事故やケガ等は発生しませんでした。

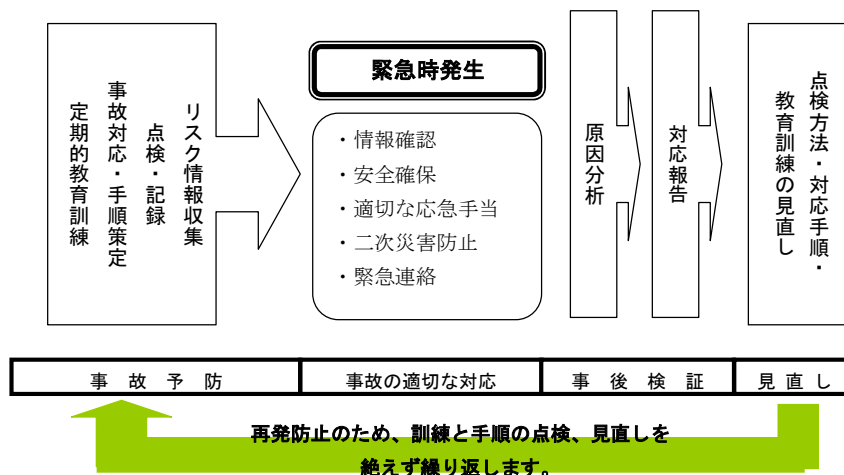


図 7－（１）－１ 安全管理のPDCAサイクル

(2) 安全管理マニュアルの作成

園内の安全管理に関わる各種情報を集約した安全管理マニュアルを作成しました。内容としては緊急時の行動フローや緊急連絡先、時期ごとに抽出したリスクと対処法等を掲載しました。

園内で発生したケガなどについて対処するとともに事故記録表を作成し、園内の危険個所などの情報収集にも役立てました。

毎月のミーティングにおいて研修として事象ごとのシミュレーションを災害対策と合わせて行いました。

次年度も、常に見直しをしながら運用します。

(3) 災害対策マニュアルの作成

大規模な地震や火災等を想定し、その場合の対処等に関する情報を集約した災害対策マニュアルを作成しました。内容としては、避難経路や具体的なスタッフの動き、連絡体制等を掲載しました。

また、災害発生時の当公園の果たすべき役割を足立区と協議し、決定した事柄を盛り込んだマニュアルの改訂を行いました。

毎月のミーティングにおいて研修として事象ごとのシミュレーションを安全管理と合わせて行いました。

次年度も、必要に応じて見直ししながら運用します。

(4) 個人情報の保護

個人情報の保護に関する研修を 12 月 16 日（月）に講義形式で研修を行いました。実施状況は月間報告書にて報告しました。

8 環境管理

(1) 環境管理計画の作成と環境管理

①環境管理計画の作成と報告

当公園は都市公園という性質上、「ビオトープ」であると同時に「公園」であることが求められます。そのため園内を大きく「都市公園ゾーン」と「ビオトープゾーン」に二分し、それぞれのゾーンで適した管理を行いました（図8-(1)-①-1）。

都市公園ゾーンでは、公園利用者にとって魅力的かつ安全に利用できることを優先させた管理計画を作成しました。また、ビオトープゾーンでは、多様な生き物の生育、生息に重点を置く必要があります。単一的ではなく多様な環境や植生区分がモザイク状に配置されることが理想的です。そのためビオトープゾーンを、さらに細かくゾーニングし、それぞれに目標とする自然状態を設定し、環境管理計画を作成しました（図8-(1)-①-2）。

また、モニタリング調査を行い、上半期報告書と年間報告書をそれぞれ作成し、環境の変化や現状についてまとめました。詳細はモニタリング報告書をご確認ください。



図8-(1)-①-1 桑袋ビオトープ公園 環境管理ゾーニング
(ビオトープゾーン・都市公園ゾーン)

桑袋ビオトープ公園 環境管理ゾーニング



図 8－(1)－①－2 桑袋ビオトープ公園 環境管理ゾーニング

②動植物のモニタリング

ビオトープ公園の環境がどのように遷移しどのような生き物が定着するかを把握するとともに、環境管理の効果測定を行うため継続的なモニタリング調査を実施しました(表 8－(1)－②－1)。調査結果は適正な環境管理に活かすと共に、インタープリテーション活動を展開するための貴重な情報として利用することができました。モニタリング調査の詳細については「桑袋ビオトープ公園モニタリング調査年間報告書(令和 6 年度)」をご覧ください。

調査地 : ①園内(ゾーン別)、②周辺水域(綾瀬川、毛長川、伝右川)

調査時期 : 令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月

調査内容 : ①ビオトープ定点写真調査

②生物相調査

(植物相調査、動物相調査、生物暦調査)

③相対照度と気温調査

表 8－（１）－②－１ 令和 6 年度 動植物のモニタリング調査回数

調査項目		調査対象 地点数	調査手法	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
ビオトープ定点写真		30箇所	ゾーン毎に定点撮影	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
植物相	木本	園内全域	ゾーン毎に毎木調査（種名、形状寸法）、マッピング								2	3	1	1	0	7
	草本	園内全域	ゾーン毎に全域を踏査し、種名を記録、目視調査		1		1			1	1		1		1	6
	草本群落	園内全域	ゾーン毎に全域を踏査（種名、面積）、マッピング		1			2			1			2		6
動物相	鳥類	園内全域	ゾーン毎にラインセンサス法（出現種、行動）、目視調査		1		1			1	1		1		1	6
	昆虫	園内全域	ゾーン毎に捕獲調査（捕虫網）、目視調査		1		1			1	1		1		1	6
	哺乳類	園内全域	フィールドサイン調査、目視調査	日常業務内で適宜実施												—
	魚類	水辺ゾーン	捕獲調査、目視調査（カゴ罟、うき島池のかいぼり時）						1							1
	両生類	園内全域	目視調査、捕獲調査	日常業務内で適宜実施												—
	爬虫類	園内全域	目視調査、捕獲調査	日常業務内で適宜実施												—
	水生生物	水辺ゾーン	捕獲調査、目視調査（カゴ罟）	1	1	0		2	1	1	1	1	1	1	1	12
	その他	園内全域	目視調査、捕獲調査	日常業務内で適宜実施												—
生物層調査(100選)		園内全域	目視調査、捕獲調査	日常業務内で適宜実施												—
相対照度		11箇所	ゾーン毎に曇天の正午にデジタル照度計で測定	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
気温		1箇所	開園時間中の最高最低気温を記録	25	27	26	26	27	25	27	27	26	27	27	29	319
周辺緑地	大鷲神社		ラインセンサス（植物相、動物相）				1									1
周辺水域	綾瀬川、毛長川、伝右川		ラインセンサス（植物相、動物相）				1									1

③ため池及び周辺河川の水質のモニタリング

桑袋ビオトープ公園のため池の上流と下流、ため池への水の供給元である伝右川の 3 か所において水質のモニタリング調査を実施しました（表 8－（１）－③－１）。水質のモニタリング調査の詳細については「桑袋ビオトープ公園モニタリング調査年間報告書（令和 6 年度）」をご覧ください。

調査地 ため池上流・下流、伝右川

調査時期 令和 6 年 3 月～令和 7 年 3 月

調査内容 透視度・溶存酸素・pH・水温・全窒素・全リン・BOD・クロロフィル a・動物プランクトン

表 8－（１）－③－１ 令和 5 年度 水質のモニタリング調査回数

調査項目		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
水質	透視度	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	溶存酸素	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	pH	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	水温	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	全窒素	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	全リン	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	BOD	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	クロロフィルa	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	動物プランクトン	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

④草地の維持・管理

草地の維持・管理作業については、ゾーンごとに草刈り作業のスケジュールを立てたうえで、毎月環境管理計画の見直しを行いながら作業を実施しました（表 8－(1)－④－1）。見直し作業内容の詳細については月間報告書に添付の「令和 6 年度環境管理記録」をご覧ください。また、1 年間の作業の見直しとして、「令和 6 年度環境管理の見直し」（資料編）、作業の安全を担保するため、「草地管理内部規定」（資料編）を作成しました。

表 8－(1)－④－1 令和 6 年度 草地の維持・管理作業実施工程表

		4月					5月					6月					7月					8月					9月					10月					11月					12月					1月					2月					3月					備考
週(火曜始まり)		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5																
日数		1	7	7	7	1	6	7	7	4	3	7	7	7	4	3	6	1	7	7	7	2	5	7	7	7	2	7	7	7	5	4	7	7	7	5	2	7	7	7	1	6	7	7	7	4	3	7	7	7												
作業可能日数		0	4	4	4	0	2	3	4	4	0	4	4	4	4	0	4	4	3	4	4	0	4	4	3	4	4	0	4	4	3	3	4	3	1	3	4	4	0	4	4	4	4	0	4	3	4	4	0	4	4	3	4									
草地A1	草地A1低茎1	予定																																													芝刈: 前6、後6 3週に1回(～10月)															
	実施																																																													
	草地A1低茎2	予定																																													芝刈: 前6、後6 3週に1回(～10月)															
	実施																																																													
	草地A1園路	予定																																													芝刈: 前2、後1(～10月) 2週に1回、9・10月は月1															
	実施																																																													
	草地A1中茎1	予定																																													刈払 5月に1回と12月															
実施																																													刈払 6月に1回と12月																	
草地A1中茎2	予定																																													刈払 7月に1回と12月																
実施																																																														
草地A1中茎3	予定																																																													
実施																																																														
草地A2	草地A2-1	予定																																													刈払															
	実施																																																													
	草地A2-2中茎1	予定																																													刈払															
	実施																																																													
	草地A2-2中茎2	予定																																													刈払															
	実施																																																													
	草地A2-2園路	予定																																													芝刈: 前2、後1(集草) 2週に1回、9・10・11月は月1															
実施																																													芝刈: 前2、後2(集草) 3週に1回																	
公園ゾーン	予定																																																													
実施																																																														
草地B	草地B1	予定																																													刈払(園路にはみ出た物) 2か月に1回(～10月)															
	実施																																																													
	草地B2	予定																																													刈払(園路にはみ出た物) 2か月に1回(～10月)															
	実施																																																													
	草地B3	予定																																													刈払(園路にはみ出た物) 2か月に1回(～10月)															
	実施																																																													
	草地B4	予定																																													刈払(園路にはみ出た物) 2か月に1回(～10月)															
実施																																																														
草地B5	予定																																													刈払(園路にはみ出た物) 2か月に1回(～10月)																
実施																																																														
草地B6	予定																																													※国土交通省による管理区分のため、作業は実施しない。																
実施																																																														
草地B7-1	予定																																													刈払																
実施																																																														
草地B7-2	予定																																													刈払																
実施																																																														
林地A	林地A1	予定																																													刈払															
	実施																																																													
	林地A2	予定																																													刈払 年に1回程度															
実施																																																														
林地B	林地B1	予定																																													刈払 春先に気になる場合															
	実施																																																													
	林地B2	予定																																													アイビー抜取 月に1回															
	実施																																																													
林地B3	予定																																													アイビー抜取 月に1回																
実施																																																														
疎林	疎林1	予定																																													芝刈機: 前7、後7 2か月に1回															
	実施																																																													
	疎林2-1	予定																																													芝刈機: 前7、後7 2か月に1回															
	実施																																																													
	疎林2-2	予定																																													芝刈機: 前7、後7 2か月に1回															
	実施																																																													
	疎林3-1	予定																																													芝刈機: 前7、後7 2か月に1回															
実施																																																														
疎林3-2	予定																																													芝刈機: 前7、後7 2か月に1回																
実施																																																														
ため池	水辺(ため池 水域)	予定																																													ため池周囲の草刈 17															
	実施																																																													
ため池陸域	水辺(ため池 陸域1、湿地エリア)	予定																																													ため池周囲の草刈 19															
	実施																																																													
	水辺(ため池 陸域2-1)	予定																																													ため池周囲の草刈 17															
	実施																																																													
水辺(ため池 陸域2-2)	予定																																													ため池周囲の草刈 17																
実施																																																														
ハス	水辺(ハス田 水域)	予定																																													ハス田周囲の草刈 27															
	実施																																																													
ハス田周辺・陸域	水辺(ハス田 岸辺1)	予定																																													ハス田、2か月に1回															
	実施																																																													
	水辺(ハス田 岸辺2)	予定																																													ハス田、2か月に1回															
	実施																																																													
	水辺(ハス田 陸域1)	予定																																													ハス田周囲の草刈 28															
	実施																																																													
	水辺(ハス田 陸域2)	予定																																													ハス田周囲の草刈 28															
	実施																																																													
	水辺(ハス田 陸域3)	予定																																													ハス田周囲の草刈 21															
	実施																																																													
水辺(ハス田 陸域4)	予定																																													ハス田周囲の草刈 21																
実施																																																														
水辺(ハス田 斜面)	予定																																													刈払 2か月に1回																
実施																																																														
園路	園路沿い	予定																																													芝刈: 前7、後7(集草7)、手刈り 1か月に1回															
	実施																																																													
	園路(バンプA1)	予定																																													芝刈: 前3、後2(集草) 1か月に1回															
	実施																																																													
	園路(バンプA2)	予定																																													芝刈: 前7、後7(集草)、手刈り 1か月に1回															
	実施																																																													
	園路(疎林)	予定																																													刈払 2か月に1回程度															
実施																																																														
園路(林地A)	予定																																													刈払 2か月に1回程度																
実施																																																														
園路(ハス田)	予定																																													刈払 1か月に1回																
実施																																																														
園路(分層帯)	予定																																													芝刈: 前3、後2(集草) 1か月に1回																
実施																																																														
外周林	外周林1	予定																																													刈払 年に1回程度															
	実施																																																													
	外周林2	予定																																																												
	実施																																																													
	外周林3	予定																																													刈払 年に1回															
	実施																																																													
外周林4	予定																																																													
実施																																																														
外周林5	予定																																																													
実施																																																														
外周林6	予定																																																													
実施																																																														
斜面	斜面1	予定																																													手刈															
	実施																																																													
	斜面2	予定																																													手刈、刈払 2か月に1回(～7月)															
	実施																																																													
斜面3	予定																																													手刈、刈払 2か月に1回(～7月)																
実施																																																														
斜面4	予定																																													刈払 2か月に1回(～7月)																
実施																																																														

⑤樹木等の維持・管理

樹木等の維持・管理作業については、ゾーンごとに作業のスケジュールを立てたうえで、毎月環境管理計画の見直しを行いながら作業を行いました（表8－（1）－⑤－1）。

今年度は昨年度にギャップ創出のため伐採したサンクチュアリの一部を、林縁部の草地として管理するため、実生木や伐採木のひこばえの剪定を行いました。今後も草地としての管理を続けていく予定です。

表8－（1）－⑤－1 令和6年度 樹木等の維持・管理作業実施内容

令和6年度 鳥居ビオトープ公園 樹木管理作業予定・実施確認表		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	備考
遺（火曜始まり）		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
作業実施日数		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
作業実施日数		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
草地A1	草地A1低草1	予定														
	草地A1低草2	予定														
	草地A1高草	予定														
	草地A1中草1	予定														
	草地A1中草2	予定														
	草地A1中草3	予定														
草地A2	草地A2-1	予定														
	草地A2-2中草1	予定														
	草地A2-2中草2	予定														
	草地A2-2高草	予定														
	公園ゾーン	予定														
	草地B1	予定														
草地B	草地B2	予定														
	草地B3	予定														
	草地B4	予定														
	草地B5	予定														
	草地B6	予定														
	草地B7-1	予定														
林地A	林地A1	予定														
	林地A2	予定														
	林地B1	予定														
	林地B2	予定														
	林地B3	予定														
	林地B4	予定														
雑草	雑草1	予定														
	雑草2-1	予定														
	雑草2-2	予定														
	雑草3-1	予定														
	雑草3-2	予定														
	雑草4	予定														
ため池	ため池（ため池 水域）	予定														
	ため池（ため池 陸域1、陸域2）	予定														
	ため池（ため池 陸域2-1）	予定														
	ため池（ため池 陸域2-2）	予定														
	ため池（ため池 陸域2-3）	予定														
	ため池（ため池 陸域2-4）	予定														
ハス田	ハス田（ハス田 水域）	予定														
	ハス田（ハス田 岸辺1）	予定														
	ハス田（ハス田 岸辺2）	予定														
	ハス田（ハス田 陸域1）	予定														
	ハス田（ハス田 陸域2）	予定														
	ハス田（ハス田 陸域3）	予定														
ハス田・陸域	ハス田（ハス田 陸域4）	予定														
	ハス田（ハス田 陸域5）	予定														
	ハス田（ハス田 陸域6）	予定														
	ハス田（ハス田 陸域7）	予定														
	ハス田（ハス田 陸域8）	予定														
	ハス田（ハス田 陸域9）	予定														
園路	園路（園路）	予定														
	園路（園路A）	予定														
	園路（園路B）	予定														
	園路（園路C）	予定														
	園路（園路D）	予定														
	園路（園路E）	予定														
外周	外周（外周）	予定														
	外周（外周A）	予定														
	外周（外周B）	予定														
	外周（外周C）	予定														
	外周（外周D）	予定														
	外周（外周E）	予定														
斜面	斜面（斜面）	予定														
	斜面（斜面A）	予定														
	斜面（斜面B）	予定														
	斜面（斜面C）	予定														
	斜面（斜面D）	予定														
	斜面（斜面E）	予定														
園内全域	園内全域	予定														
	園内全域	予定														
	園内全域	予定														
	園内全域	予定														
	園内全域	予定														
	園内全域	予定														

⑥生物管理

今年度の生物管理作業としては、区民協働によるアメリカザリガニやカダヤシの駆除、スタッフによるウシガエルの駆除、外来植物の抜き取り等を行いました（表 8－（１）－⑥－１）。

・アメリカザリガニの駆除

アメリカザリガニについては、「ザリガニ調べ」に年間で 9,282 人（前年度 8,062 人）の方が参加し、釣りにおいて 9,256 匹（前年度 7,058 匹）の駆除を行うことができました。「タモ網を使った生き物調べ」については再開に向けて実験的に 2 月に実施し、45 人が参加し、7 匹の駆除を行いました。また、ボランティア活動やイベントなどのその他の活動において 3,691 匹（前年度 4,224 匹）を駆除することができました。アメリカザリガニの総駆除数は 12,954 匹（前年度 11,282 匹）となりました（表 8－（１）－⑥－１、表 8－（１）－⑥－２）。来年度は罟による駆除を強化する予定です。

・ウシガエルの駆除

ウシガエルについては、トラップによる成体の捕獲、池の巡回による卵塊の駆除を行いました。捕獲数は成体が 73 匹（前年度 35 匹）、幼体が 2,155 匹（前年度 334 匹）、卵塊が 3（前年度 5）となりました（表 8－（１）－⑥－１）。卵塊を見逃してしまったことで、幼体の駆除数が多くなりました。来年度は卵塊の駆除を重視して駆除を行う予定です。

・ヒメダカの駆除

ヒメダカについては、確認されませんでした。半面令和 4 年より確認されているカダヤシの駆除数が増加しており、競合により数が減っていると推測されます。

・カダヤシの駆除

カダヤシについては、ボランティア活動やイベントなどのその他の活動において、4,122 匹（前年度 895 匹）を駆除することができました（表 8－（１）－⑥－１）。昨年度より駆除数が増加しているため、来年度は効率的な駆除方法を検討し、実施します。

・外来植物の抜き取り、伐採

外来植物については、全種合わせて 10,363 株（前年度 11,305 株）を駆除しました（表 8－（１）－⑥－１）。環境管理活動の他、公園サポーターの活動やビオレンジャー活動などで抜き取り作業を行い、広範囲の外来植物を駆除することができました。これは次年度も継続して実施したいと考えています。

表 8－（１）－⑥－１ 外来種駆除の作業一覧

令和6年度外来種駆除数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
アメリカザリガニの駆除（釣り）	10	203	4027	2758	1479	575	177	18	0	0	0	0	9,247
アメリカザリガニの駆除（タモ網）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	7
アメリカザリガニの駆除（その他）	5	304	1144	541	797	718	126	34	12	0	5	5	3,691
アメリカザリガニの総駆除数	15	507	5,171	3,299	2,276	1,293	303	52	12	0	12	14	12,954
カダヤシの駆除	0	19	166	533	336	2,534	515	1	10	5	0	3	4,122
ウシガエル成体の駆除	0	8	9	5	8	18	15	0	10	0	0	0	73
ウシガエル幼体の駆除	0	53	83	738	762	508	10	1	0	0	0	0	2,155
ウシガエル卵塊の駆除	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
アカボシゴマダラの駆除	0	0	0	6	10	3	0	0	0	0	0	0	19
セアカゴケグモの駆除	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
セイタカアワダチソウの抜き取り	0	3556	1362	533	534	539	486	1760	0	0	0	295	9,065
アメリカセンダングサの抜き取り	0	0	0	0	308	133	285	259	0	8	0	0	993
コセンダングサの抜き取り	0	1	0	0	66	177	0	0	0	0	0	0	244
ナガミヒナゲシの抜き取り	0	49	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61
外来植物の総駆除数	0	3,606	1,374	533	908	849	771	2,019	0	8	0	295	10,363

表 8－（１）－⑥－２ ザリガニ調べ、虫とり網を使った生き物調べの月別参加者

	ザリガニ調べ				虫とり網を使った生き物調べ		
	大人	子供	ビオレンジャー	合計	大人	ビオレンジャー	合計
4月	277	334	229	840	51	246	297
5月	587	486	312	1,385	93	337	430
6月	829	556	614	1,999	120	427	547
7月	556	358	449	1,363	78	219	297
8月	480	421	332	1,233	104	223	327
9月	474	369	269	1,112	114	224	338
10月	306	241	137	684	34	116	150
11月	55	99	79	233	24	83	107
12月	18	17	18	53	1	24	25
1月	9	26	26	61	2	7	9
2月	12	12	11	35	0	4	4
3月	69	92	123	284	11	55	66
計	3,672	3,011	2,599	9,282	632	1,965	2,597

⑦水生植物等の管理

水生植物の管理活動においては、水辺ボランティアとも連携しながらサンカクイの抜き取りや、ハスの葉の刈り取りを行いました。

2月には、倒れた水生植物がヘドロになる事を防ぐため、ため池・ハス田周囲の枯れ草や、ヒメガマの刈り取りを行いました。

今年度に行った水生植物等の管理作業は、表8-(1)-⑦-1の通りです。

表8-(1)-⑦-1 令和6年度 水生植物等の管理作業実施内容

作業日		曜日	場所	作業内容
4月	12日	金	ハス田	サンカクイの抜き取り
	23日	火	ハス田	サンカクイの抜き取り
	27日	土	ため池	ヒメガマの刈り取り
5月	5日	日	ハス田	サンカクイの抜き取り
	30日	木	ハス田	サンカクイの抜き取り
	30日	木	ため池	ヒメガマの刈り取り
6月	19日	水	ハス田	交雑ハスの刈り取り
	25日	火	ハス田	サンカクイの抜き取り
			ハス田	サンカクイの抜き取り
8月	3日	土	ハス田	ハスの花托の刈り取り
	11日	日	ハス田	ハスの花托の刈り取り
	23日	金	ハス田	ハスの花托の刈り取り
	18日	日	ため池	ウキヤガラの刈り取り
9月	20日	金	ハス田	ハスの葉の刈り取り
	23日	月	ハス田	ハスの葉の刈り取り
11月	21日	木	ため池	ヒメガマの穂の刈り取り
	28日	木	ため池	ヒメガマの穂の刈り取り
1月	10日	金	ハス田	三角池の浚渫
	11日	土	ハス田	三角池の浚渫
2月	17日	月	ため池	ガマの刈り取り
3月	19日	水	ため池	ガマの刈り取り

⑧ため池の水質改善の取り組み

前年度に引き続き、ため池の透視度を改善するための取り組みを行いました。透視度悪化の原因として、植物プランクトンの増加があります。増加の要因である栄養塩類を減らす取り組みとして「炭の設置」、「アサザの移植」、「水生植物の刈り取り」の３種類の手法を実施しました。

炭には、有機物などの汚れを吸着させて水を浄化する作用があります。ため池への有機物の流入量を減らす取り組みとして、伝右川からの放水口に、炭を入れたコンテナを設置しました。

水辺ボランティアの活動でアサザの移植、管理作業を行いました。アサザは浮葉植物の一種で、水中の栄養塩吸収が期待できます。今年度の活動ではより広い範囲にアサザを定着させることを目的とし、アサザエリアの拡大や移植を実施しました。

ヨシやヒメガマは成長が早く、葉の大きな抽水植物で、窒素固定効果が高いことが知られています。冬季にはヨシやヒメガマなど水生植物が立ち枯れ、水中に栄養塩が流出することがないよう、水辺ボランティアの活動や環境管理作業にて刈り取りと回収を行いました。

次年度も、アサザなどの水生植物を適切に管理し、水質改善に取り組みます。